

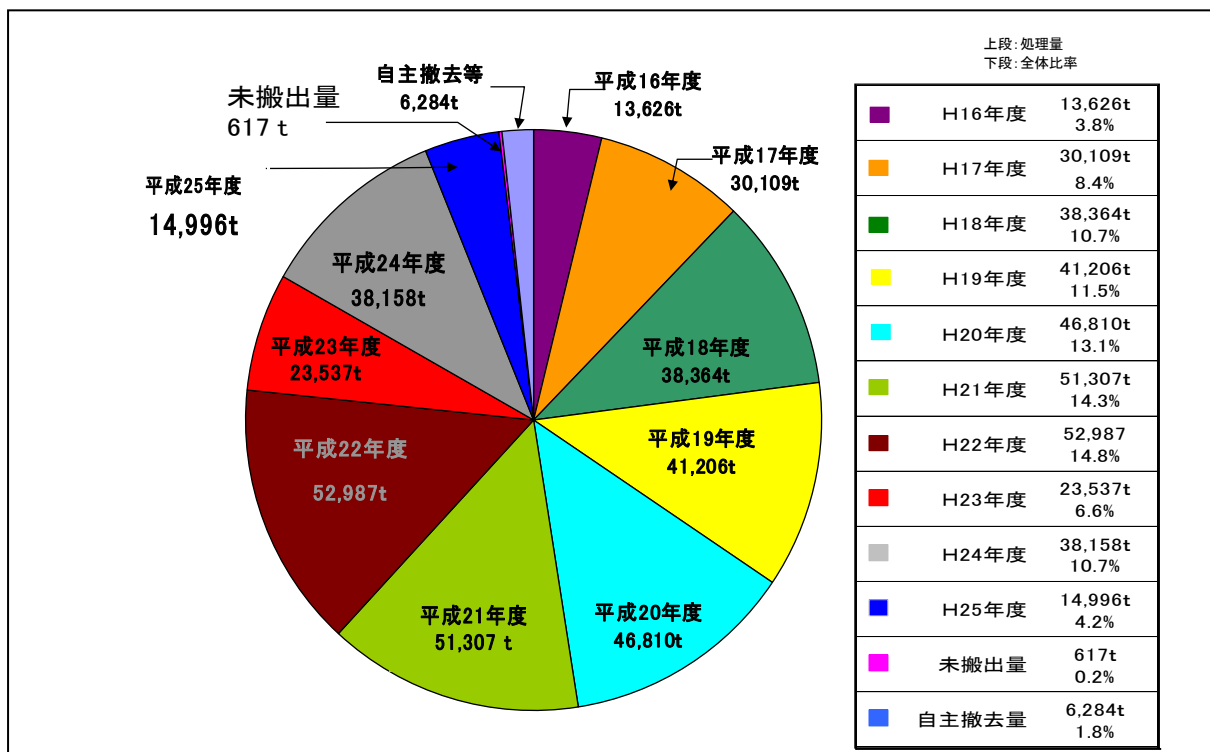
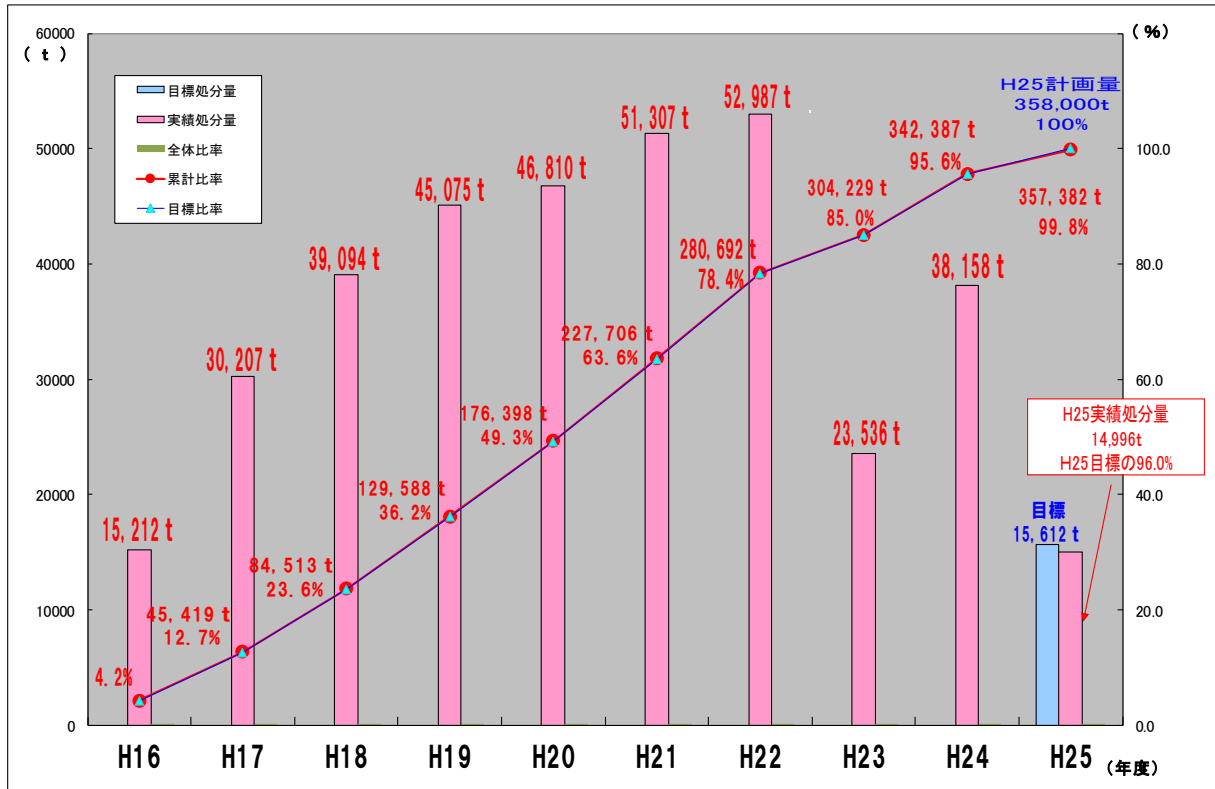
平成25年度廃棄物処分状況及び事業実績について

1 平成25年度廃棄物処分状況（2月末時点）

	廃棄物量	処分実績	進捗率
廃棄物総量	358,000 t	357,382 t	99.8%
平成25年度目標	15,612 t	14,996 t	96.0%

※廃棄物総量の処分実績には自主撤去量 6284.18 t を含む

○年度別処分状況



2 廃棄物搬出状況

普通産業廃棄物については、主に太平洋セメント(株)大船渡工場、三菱マテリアル(株)岩手工場及びエコシステム秋田の3施設に搬出を行いました。

2月末までに14,996 tの搬出を行っており、3月26日に撤去が完了します。

○ 平成25年度処分先別処分状況 (2月末)

No.	処分先施設名	計画量	処分量	処分状況
①	太平洋セメント(株)大船渡工場	4,100 t	3,588.17t	87.6%
②	三菱マテリアル(株)岩手工場	3,100 t	2,955.60t	95.3%
③	エコシステム秋田(株)	8,347.41 t	8,387.67t	100.5%
④	いわて県北クリーン(株)	53 t	52.61 t	99.2%
⑤	(株)クレハ環境	10 t	10.09 t	100%
⑥	(株)東部環境	1.59 t	1.59 t	100%
	合 計	15,612 t	14,995.73t	96.0%

3 平成25年度各事業の契約状況について

平成25年度における岩手・青森県境不法投棄現場の原状回復に係る業務の契約状況は資料1-2のとおりです。

平成25年12月18日に日本国土開発(株)と『汚染拡散防止工設置業務』の契約を締結したほか、同年10～12月に(有)八紘カイハツ、岩手県南運輸(株)及び大東運輸(株)と廃棄物の運搬業務、太平洋セメント(株)と廃棄物の処分業務の契約を締結しました。



【廃棄物積込状況 H26.2.14】



【鋼矢板設置状況 H26.3.4】

委託事業契約状況(平成26年2月28日現在)

資料1-2

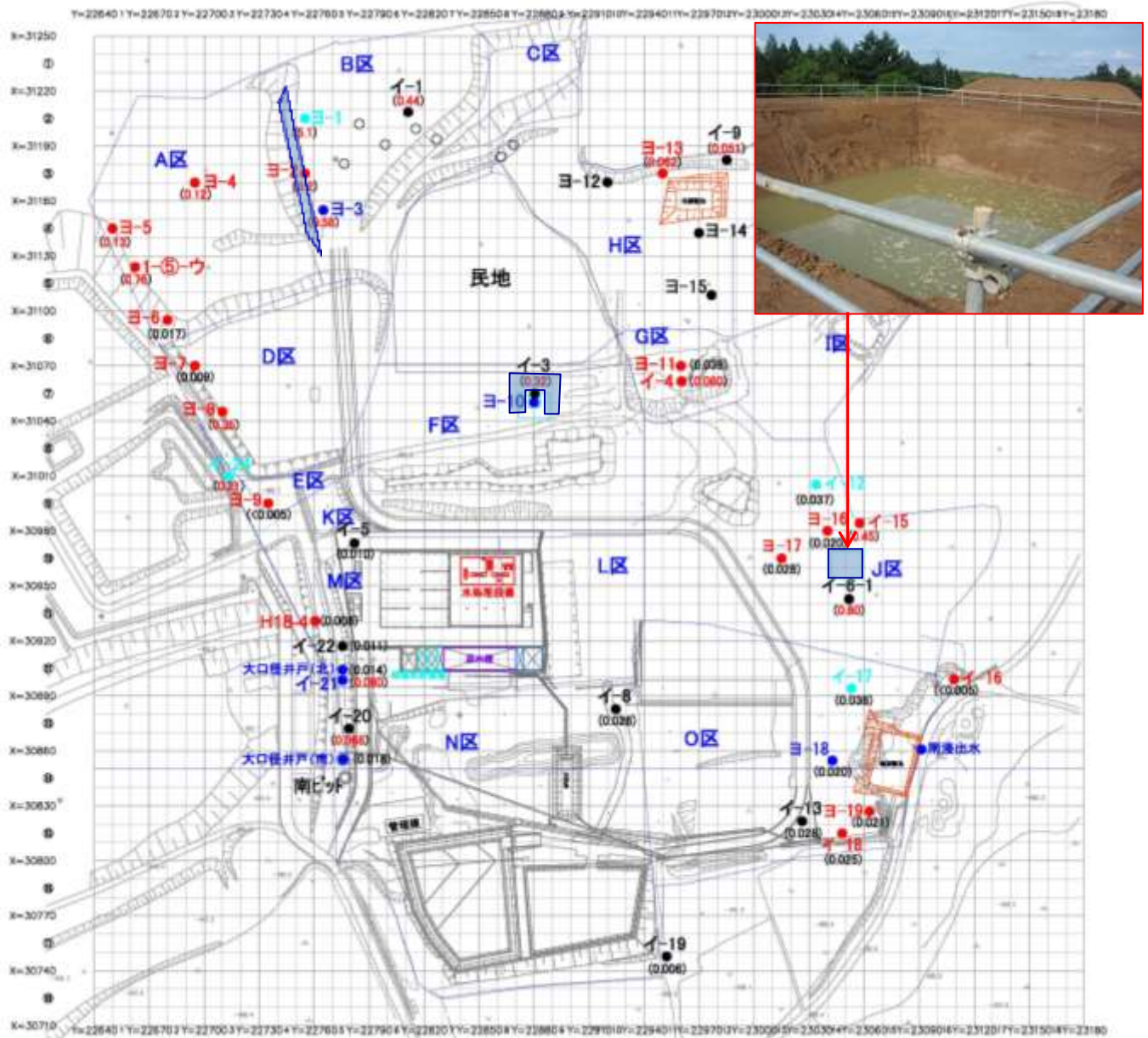
委託業務名	契約日	契約期間	契約の相手方・ (所在地)	業務の内容又は 廃棄物の種類	年間予定 数量(t)	年間経費 (千円)	
汚染水処理業務	H25.4.19	H25.4.19~H26.3.31	日本国土開発株 (盛岡市)	汚染水処理設備運用1式	—	166,425	
廃棄物積込・場内管理業務	H25.5.13	H25.5.13~H25.8.30	日本国土開発株 (盛岡市)	廃棄物積込1式、 場内管理1式	—	23,100	
汚染拡散防止工調査・詳細設計業務	H25.5.29	H25.5.29~H25.10.18	応用地質株 (盛岡市)	現地測量、地質調査、 詳細設計	—	6,143	
廃棄物積込業務	H25.10.24	H25.10.24~H26.2.28	日本国土開発株 (盛岡市)	廃棄物積込1式	—	9,975	
汚染拡散防止工設置業務	H25.12.18	H25.12.18~H26.3.25	日本国土開発株 (盛岡市)	止水工 1式	—	17,314	
太平洋セメント	産業廃棄物(汚泥)処分業務	H25.5.7	H25.5.7~H25.8.31	太平洋セメント株 (大船渡市)	塩素含有量1,000ppm以下の汚泥	1,800	38,556
	産業廃棄物(汚泥)処分②業務	H25.10.29	H25.10.29~H26.3.28	太平洋セメント株 (大船渡市)	塩素含有量1,000ppm以下の汚泥	2,300	49,266
	産業廃棄物(太平洋セメント処理)運搬①業務	H25.5.8	H25.5.8~H25.8.30	岩手県南運輸株 (大船渡市)	太平洋セメント大船渡工場へ運搬	900	7,088
	産業廃棄物(太平洋セメント処理)運搬②業務	H25.5.8	H25.5.8~H25.8.30	(有)八紘カイハツ (二戸市)	太平洋セメント大船渡工場へ運搬	900	7,466
	産業廃棄物(太平洋セメント処理)運搬③業務	H25.11.21	H25.11.21~H26.3.20	(有)八紘カイハツ (二戸市)	太平洋セメント大船渡工場へ運搬	1,000	8,295
	産業廃棄物(太平洋セメント処理)運搬④業務	H25.11.22	H25.11.22~H26.3.20	岩手県南運輸株 (大船渡市)	太平洋セメント大船渡工場へ運搬	1,000	8,295
三菱マテリアル	産業廃棄物(汚泥)処分業務	H25.5.8	H25.5.8~H25.8.30	三菱マテリアル株 (一関市東山町)	塩素含有量3,000ppm以下の汚泥	2,100	42,336
	産業廃棄物(三菱マテリアル処理)運搬①業務	H25.5.13	H25.5.13~H25.8.30	大東運輸株 (一関市東山町)	三菱マテリアル岩手工場へ運搬	1,050	5,292
	産業廃棄物(三菱マテリアル処理)運搬②業務	H25.5.9	H25.5.9~H25.8.30	(有)福田運送 (二戸市)	三菱マテリアル岩手工場へ運搬	1,050	6,064
	産業廃棄物(三菱マテリアル処理)運搬③業務	H25.12.11	H25.12.11~H26.3.7	大東運輸株 (一関市東山町)	三菱マテリアル岩手工場へ運搬	700	4,704
県北クリーン	特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)処分業務	H25.7.16	H25.7.16~H25.8.30	いわて県北クリーン株 (九戸郡九戸村)	感染性産業廃棄物	0.24	38
	特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)運搬業務	H25.7.17	H25.7.17~H25.7.31	(有)福田運送 (二戸市)	いわて県北クリーンへ運搬	(1台)	21
	産業廃棄物(廃プラ・汚泥混合廃棄物)処分業務	H25.6.28	H25.6.28~H25.8.30	いわて県北クリーン株 (九戸郡九戸村)	廃プラスチック・ 汚泥混合廃棄物	36	1,701
	産業廃棄物(廃プラ・汚泥混合廃棄物)運搬業務	H25.6.28	H25.6.28~H25.8.30	(有)八紘カイハツ (二戸市)	いわて県北クリーンへ運搬	36	162
エコシステム秋田	産業廃棄物(高塩分汚泥等)処分業務	H25.5.7	H25.5.7~H25.9.30	エコシステム秋田株 (秋田県大館市)	高塩分・金属・ 廃プラリッチ汚泥	4,100	126,998
	産業廃棄物(高塩分汚泥等)処分②業務	H25.10.17	H25.10.17~H26.3.14	エコシステム秋田株 (秋田県大館市)	高塩分・金属・ 廃プラリッチ汚泥	3,500	108,412
	産業廃棄物(エコシステム秋田処理)運搬①業務	H25.5.24	H25.5.24~H25.8.30	(有)八紘カイハツ (二戸市)	エコシステム秋田へ運搬	2,035	8,974
	産業廃棄物(エコシステム秋田処理)運搬②業務	H25.5.24	H25.5.24~H25.8.30	(有)福田運送 (二戸市)	エコシステム秋田へ運搬	2,035	9,509
	産業廃棄物(エコシステム秋田処理)運搬③業務	H25.10.17	H25.10.17~H26.2.28	(有)福田運送 (二戸市)	エコシステム秋田へ運搬	1,750	8,085
	産業廃棄物(エコシステム秋田処理)運搬④業務	H25.10.17	H25.10.17~H26.2.28	(有)八紘カイハツ (二戸市)	エコシステム秋田へ運搬	2,035	8,140
	産業廃棄物(廃油)処分業務	H25.5.22	H25.5.23~H25.8.30	エコシステム秋田株 (秋田県大館市)	廃油	13	840
	産業廃棄物(廃油)運搬業務	H25.5.22	H25.5.24~H25.6.30	日本通運株 (盛岡市)	エコシステム秋田へ運搬	13	106
	産業廃棄物(汚泥(廃食品類)、金属くず)処分業務	H25.6.7	H25.6.7~H25.9.30	エコシステム秋田株 (秋田県大館市)	汚泥(廃食品類)、 金属くず	493	21,171
	産業廃棄物(フレコン詰め高塩分汚泥等)運搬①業務	H25.7.8	H25.7.8~H25.9.30	福興産業株 (福島県桑折町)	フレコン詰め高塩分汚泥等	246	1,009
	産業廃棄物(フレコン詰め高塩分汚泥等)運搬②業務	H25.6.12	H25.6.12~H25.8.30	日本通運株 (盛岡市)	フレコン詰め高塩分汚泥等	246	1,578
クレハ環境	産業廃棄物(廃PCB等)処分業務	H25.8.1	H25.8.1~H25.12.31	株クレハ環境 (福島県いわき市)	廃PCB等	(44本)	19,866
	産業廃棄物(廃PCB等)運搬業務	H25.8.7	H25.8.7~H25.8.30	日本通運株 (盛岡市)	クレハ環境へ運搬	(2台)	630
環東境部	産業廃棄物(廃タイヤ)運搬業務	H25.8.7	H25.9.17~H25.10.31	株東部環境 (東松島市)	東部環境へ運搬・ 廃タイヤ処分	1.56	84
水質関係周辺環境調査	H25.4.23	H25.4.23~H26.3.21	エヌエス環境株 (盛岡市)	水質分析、 底質分析等の測定	4・10回/年 1回/年	14,175	
大気関係周辺環境調査	H25.5.22	H25.5.23~H26.3.21	エヌエス環境株 (盛岡市)	有害大気物質、 浮遊粒子物質等の測定	4回/年	15,750	

1, 4-ジオキサン対策について

1 汚染土壌の浄化

(1) 土壌浄化の実施状況

汚染土壌の浄化は洗い出し方式で実施しており、B・F・J 地区に設置した池から区域内に給水しています。1, 4-ジオキサンを含む地下水を20井戸（H25.12実績）から揚水により回収（水量観測は毎日）し、1, 4-ジオキサンの分解等により環境基準に適合させた処理水を洗い出しに再利用しています。



【図-1 現場平面図】

※1 () 内数値は、1, 4-ジオキサン濃度（H25.12 実績）。

※2 揚水量は、H25.12 実績。

図の凡例

- 揚水量 100t/月 超
- 揚水量 10~100t/月
- 揚水量 10t/月 未満

□ : 貯水池

(2) 地下水の水質

定期調査を実施している42井戸のうち、採水可能であった39井戸を調査した結果、H25.12時点での環境基準値の超過は17井戸でした。最大値はB地区ヨ-1井戸の5.1mg/L（環境基準値の102倍）。

なお、揚水井戸（ヨ系列）は、冬期間（ポンプ等の凍結防止）のため、H25.12まで稼動しました。（これにより、1,4-ジオキサン濃度の測定も同月まで実施。）

また、モニタリング井戸（イ系列）では、積雪の影響がないH26.1まで1,4-ジオキサンの測定を実施しました。

これまでの1,4-ジオキサン濃度の推移を見ると、B地区の濃度が比較的、高い状態で推移しています。

【表-1 1,4-ジオキサン濃度の推移】

単位：mg/L 環境基準：0.05mg/L以下

揚水井	区画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ヨ-1※1	B	7.1	7.8	6.8	0.82	0.10	0.41	0.15	6.5	5.1	未測定	未測定
ヨ-2※1	B	1.9	1.6	8.2	2.0	0.64	0.38	3.0	6.0	3.2		
ヨ-3※1	B	0.38	0.82	0.40	0.36	0.80	0.33	0.84	1.2	0.58		
ヨ-4	A	0.13	0.13	0.11	0.15	0.12	0.48	0.17	0.18	0.12		
ヨ-5	A	0.074	0.089	0.10	0.082	0.023	0.014	0.064	0.064	0.13		
ヨ-6	A	0.23	<0.005	0.097	0.025	<0.005	<0.005	0.022	0.034	0.017		
ヨ-7	D	0.007	0.009	0.006	0.005	0.013	0.010	0.013	<0.005	0.009		
ヨ-8	D	0.28	0.39	0.17	0.64	0.68	0.96	0.22	1.2	0.35		
ヨ-9	E	0.18	0.17	0.22	0.16	0.15	0.17	0.014	<0.005	<0.005		
ヨ-11	G	0.053	0.062	0.072	0.051	0.037	0.035	0.049	0.041	0.039		
ヨ-12	H	0.005	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヨ-13	H	0.046	0.033	0.050	0.030	<0.005	0.037	0.042	0.049	0.062		
ヨ-14	H	0.008	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヨ-15	H	<0.005	-	-	-	-	-	-	-	-		
ヨ-16	J	0.041	0.013	0.012	0.009	0.043	0.030	0.024	0.032	0.020		
ヨ-17	O	0.012	0.019	0.040	0.035	0.073	0.051	0.043	0.024	0.028		
ヨ-18	O	0.045	0.056	0.063	0.043	0.050	0.045	0.057	0.008	0.020		
ヨ-19	O	0.037	0.033	0.039	0.029	0.024	0.035	0.045	0.024	0.021		
H18-4	K	0.81	-	0.22	0.33	0.12	0.089	0.012	0.050	0.008		
1-⑤-ウ	A	0.11	0.56	0.62	0.59	0.62	0.59	0.65	0.63	0.76		
大口径北	M	-	0.28	0.27	0.31	0.17	0.27	0.019	0.069	0.014	0.097	0.090
大口径南	N	-	0.11	0.097	0.13	0.094	0.065	0.064	0.029	0.018	0.015	0.022

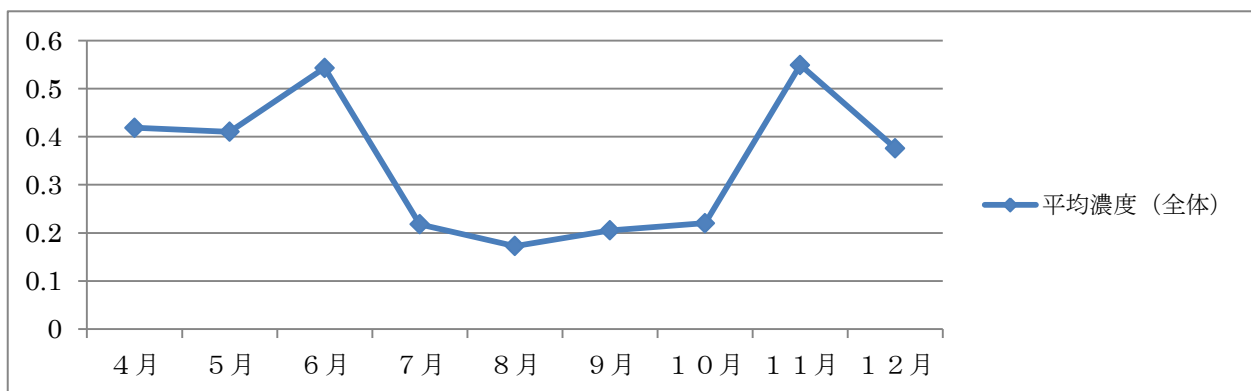
モニタリング井戸	区画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
イ-1	B	2.3	0.080	0.46	0.58	0.17	0.98	0.86	0.64	0.44	0.61	未測定
イ-3(ヨ-10)※2	F	0.32	0.39	0.44	0.35	0.10	0.16	0.12	0.074	0.32	0.28	
イ-4	G	0.016	0.071	0.034	0.052	0.12	0.10	0.11	0.065	0.080	0.092	
イ-5	K	0.012	0.006	0.005	<0.005	0.008	0.013	0.021	0.014	0.010	0.006	
イ-6-1※3	J	0.42	0.37	0.29	0.086	0.47	0.49	0.46	0.67	0.80	0.48	
イ-8	N	0.025	0.028	0.035	0.023	0.029	0.041	0.032	0.022	0.026	0.021	
イ-9	H	0.047	0.056	0.060	0.056	0.050	0.068	0.049	0.061	0.051	0.051	
イ-11	現場外	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
イ-12	N	0.042	0.045	0.061	-	0.017	0.011	0.025	0.027	0.037	0.019	
イ-13	H	0.043	0.046	0.042	0.039	0.036	0.051	0.044	0.032	0.028	0.034	
イ-14	現場外	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
イ-15※3	J	0.31	0.56	0.63	0.12	0.54	0.68	0.20	0.48	0.45	0.45	
イ-16	O	0.005	0.007	0.007	0.008	0.013	0.013	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
イ-17	O	0.041	0.038	0.042	0.041	0.038	0.042	0.030	0.040	0.038	0.043	
イ-18	O	0.050	0.049	0.049	0.048	0.048	0.049	0.046	0.006	0.025	0.034	
イ-19	現場外	0.016	0.009	0.015	0.010	0.010	0.011	0.011	0.008	0.006	0.007	
イ-20	N	0.058	0.074	0.070	0.029	0.058	0.13	0.060	0.068	0.068	0.078	
イ-21	M	0.092	0.086	0.065	0.19	0.080	0.13	0.14	0.10	0.060	0.075	
イ-22	M	0.017	0.013	0.016	0.020	0.019	0.018	0.011	0.014	0.011	0.010	
イ-24	K	0.23	0.26	0.19	0.18	0.48	0.40	0.21	0.22	0.21	0.19	

表の凡例：■ 基準10倍以下、■ 基準100倍以下、■ 基準100倍超

□ 貯水池により洗い出しを行っている井戸

※1 貯水池設置（6月）、※2 貯水池設置（4月）、※3 貯水池設置（6月）

H25.12時点の全井戸の1,4-ジオキサン濃度平均値は、約0.38mg/Lであり、濃度の推移は、図-2のとおり漸減傾向となっています。

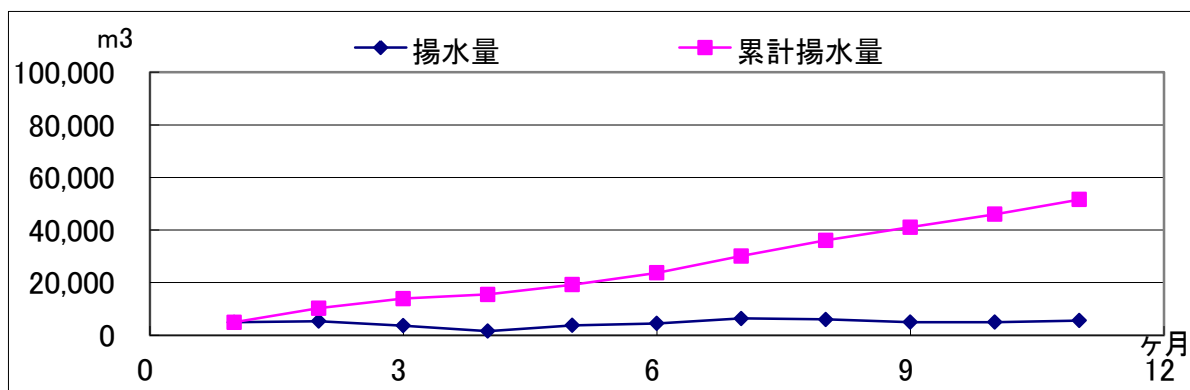


【図-2 1,4-ジオキサン平均濃度】

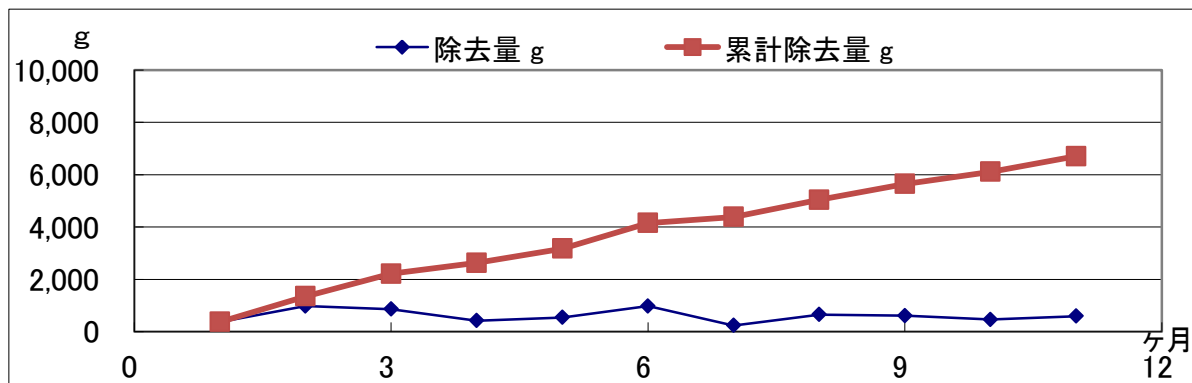
H26.2時点の累計揚水量は、51,624m³（平均揚水量は、4,693m³/月）、1,4-ジオキサンの累計除去量は、6,700g（平均除去量は、609g/月）となっています。

【表-2 揚水量・1,4-ジオキサン除去量】

日付		H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.10	H25.11	H25.12	H26.1	H26.2
経過月数	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
揚水量	m ³	4,923.9	5,377.2	3,637.1	1,574.2	3,745.8	4,500.2	6,355.1	5,995.5	4,965.5	4,970.9	5,578.7
累計揚水量	m ³	4,923.9	10,301.1	13,938.2	15,512.4	19,258.2	23,758.4	30,113.5	36,109.0	41,074.5	46,045.4	51,624.1
除去量	g	373.6	976.6	859.5	418.1	543.9	976.9	236.7	652.2	606.9	464.2	592.1
累計除去量	g	373.6	1,350.2	2,209.7	2,627.8	3,171.7	4,148.6	4,385.3	5,037.5	5,644.4	6,108.6	6,700.7



【図-3 揚水量-累計揚水量】

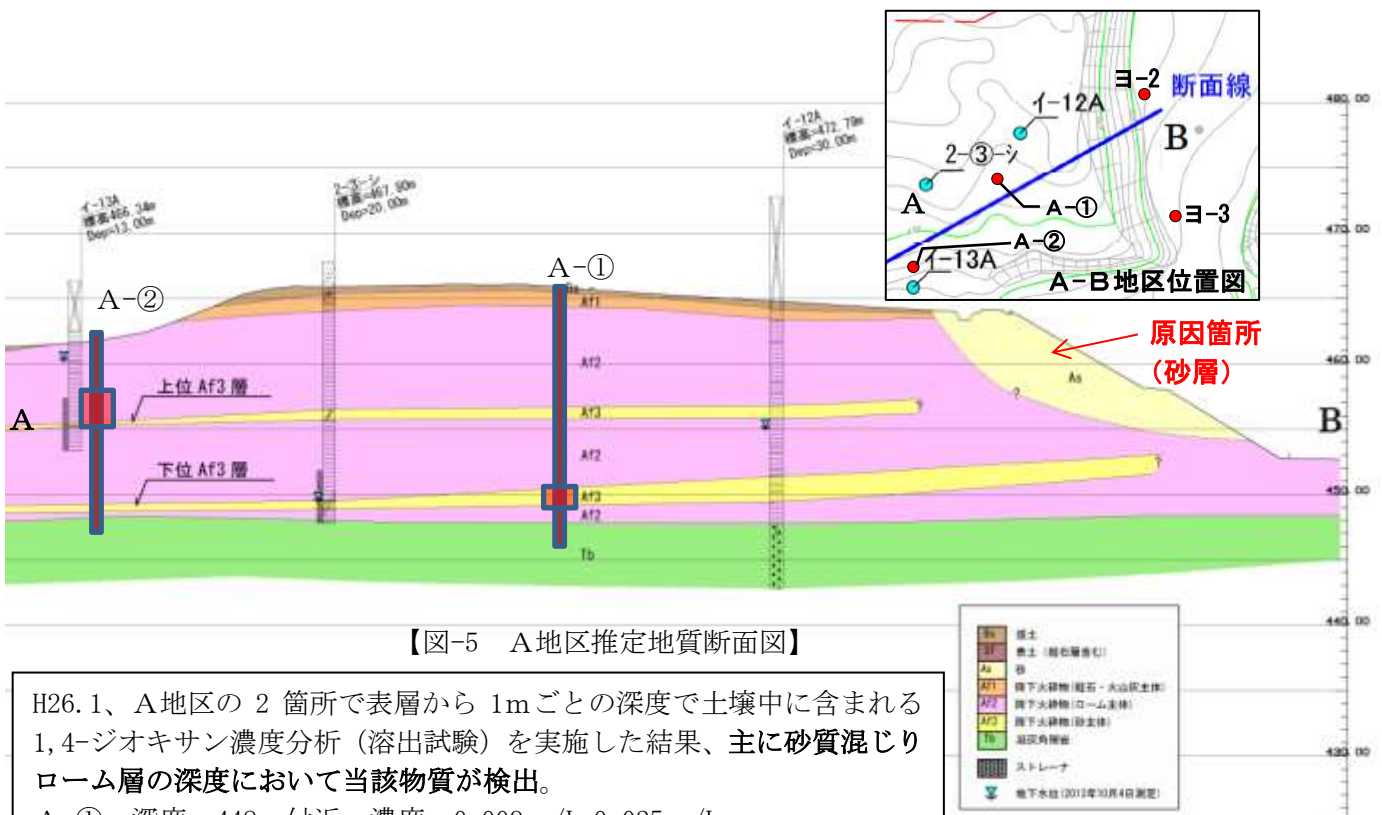
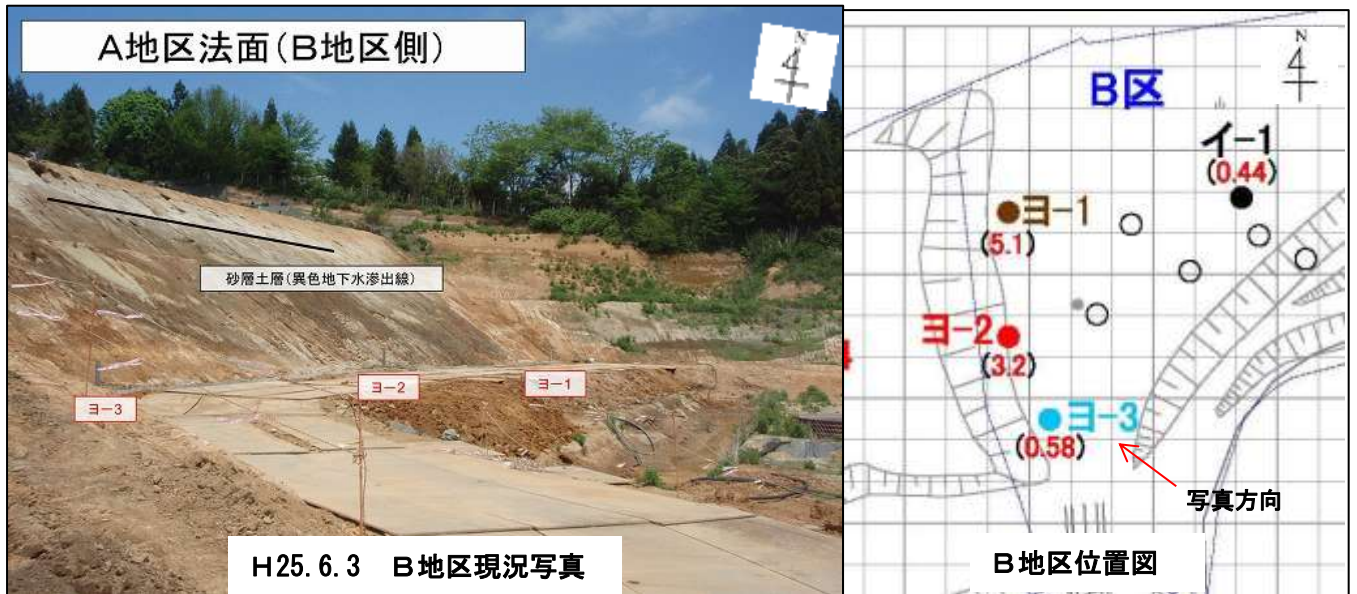


【図-4 除去量-累計除去量】

(3) 今後の対策

A-B地区の境界法面の中ほどの砂質土層において、褐色の滲出水から1,4-ジオキサンが検出されており、当該層が高濃度帯になっていると考えられます。

汚染源対策として、A-B地区の境界にある法面部分を含む砂質土層全体を掘削除去するとともに、B地区で実績のある洗出方式による浄化をA地区で実施することとします(⇒貯水池の設置、注水等)。



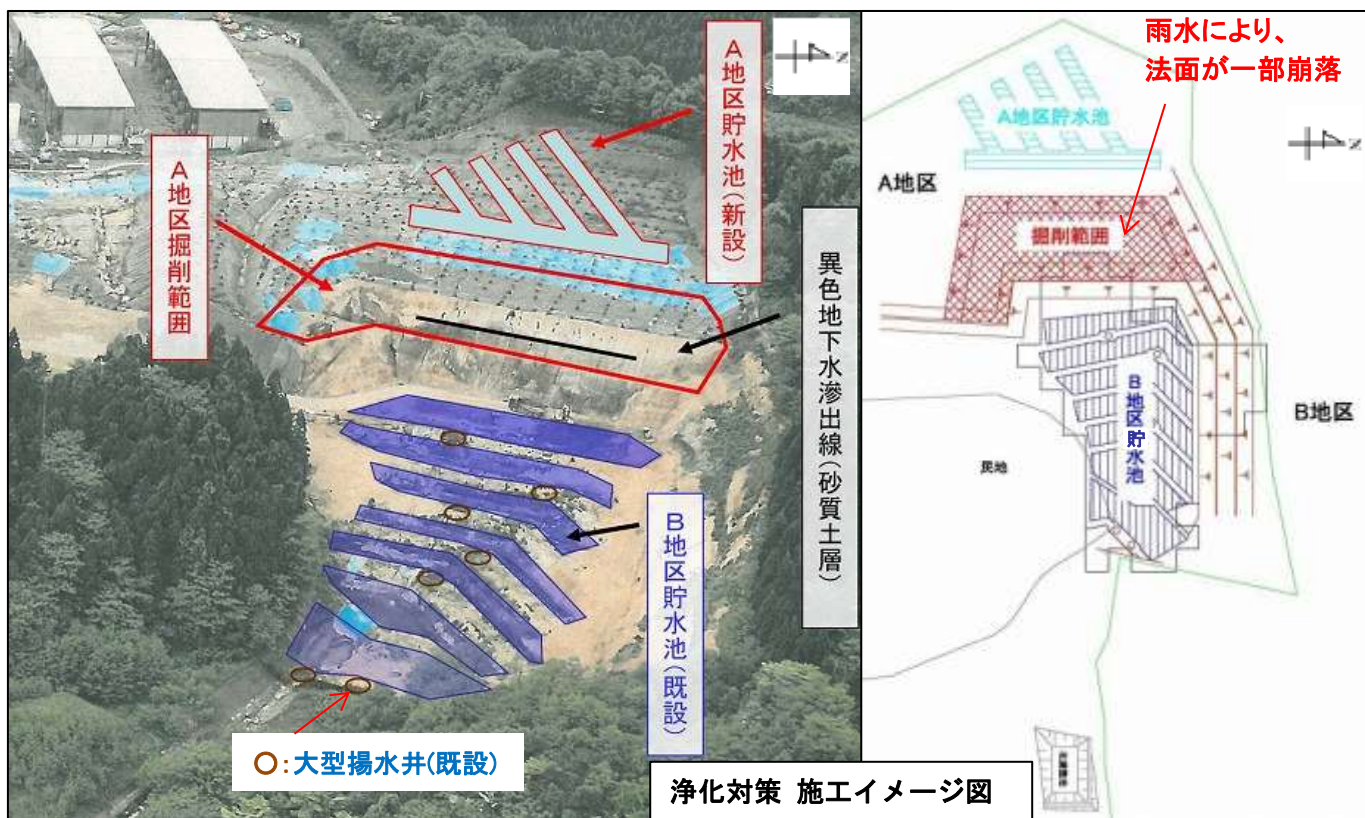
【図-5 A地区推定地質断面図】

H26.1、A地区の2箇所では表層から1mごとの深度で土壌に含まれる1,4-ジオキサン濃度分析(溶出試験)を実施した結果、主に砂質混じりローム層の深度において当該物質が検出。

A-① 深度: 448m付近 濃度: 0.009mg/L-0.025mg/L

A-② 深度: 456m付近 濃度: 0.006mg/L-0.031mg/L

※上記深度以外では、すべて0.005mg/L未満(定量下限値)。



2 汚染地下水の流出防止対策

県境部の遮水工については、3月4日より鋼矢板の設置工事に着手しており、早期の工事完了に向けて、現在、作業を進めています。

【事業費：約1億8千万円、鋼矢板設置延長：121.2m、設置深度平均：約20m】



遮水工現況写真 (H26.3.4)

【図-5 県境部遮水工位置図】

3 水処理施設運転状況

(1) 処理水の監視体制

水処理を適切に実施するため、処理水中の1,4-ジオキサンを週1回、揮発性有機化合物（VOC）及び重金属等を月1回、水質環境基準の評価方法（公定法）により測定しています。

(2) 処理水の監視結果（H25.11～H26.2）

水処理施設は安定に稼働しており、全ての項目において基準に適合しています（分析結果は計量証明書のとおり）。

【表-3 1,4-ジオキサンの処理状況】 単位：mg/L 基準値：0.05mg/L以下

種類	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	12月16日	12月23日
原水	0.17	0.15	0.13	0.11	0.16	0.17	0.15	0.13
処理水	0.010	0.007	<0.005	<0.005	0.008	0.009	0.008	0.008

種類	1月6日	1月13日	1月20日	1月27日	2月3日	2月10日	2月17日	2月24日
原水	0.089	0.088	0.12	0.14	0.10	0.11	0.12	0.10
処理水	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005

○マンガン除去対策

マンガン砂ろ過槽の前後において、マンガン濃度を分析した結果は、次のとおりです。

【表-4 マンガン濃度の状況】 単位：mg/L

	11月4日	11月6日	11月9日	11月14日	11月18日	11月26日
処理前①	12	12	10	8.8	9.2	11
処理後②	12	12	0.09	6.8	7.0	6.0

	12月2日	12月9日	12月16日	12月24日
処理前①	9.2	11	5.9	7.3
処理後②	7.2	6.1	0.08	4.2

11月初、凝集沈殿槽で発生した浮遊フロックがマンガン砂ろ過塔に流入したため、マンガン砂の目詰まりを起こし、マンガン除去不良となりました。

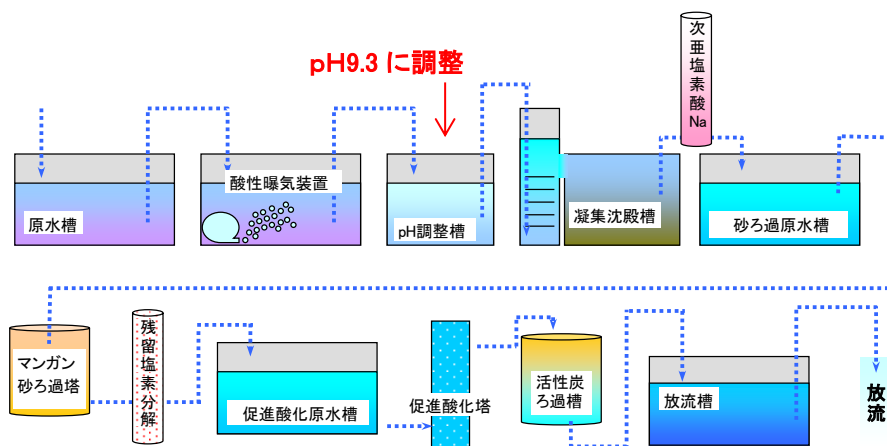
この対策として、凝集沈殿槽への流入水をpH9.3に調整すると目詰まりが起きないことが確認できたため、11月9日以降、除去効率は良好に維持されています。



pH8.5: スラッジが厚く付着



pH9.3: スラッジが表面のみ付着



【図-6 水処理フロー図】



濃度計量証明書

日本国土開発株式会社 殿

計量証明事業登録 岩手県 第70号
事業者 エヌエス環境株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋 3-24-9
事業所 総合分社 新橋センター
〒020-0122 岩手県盛岡市みちのけ4丁目3番33
TEL (019) 643-8811

計量管理者 谷藤 伸也
環境計量士 (濃度関係) 登録番号 第4398号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

試料採取日	平成26年1月8日	採取時刻	14:45	採取者/所属	- / 日本国土開発株式会社
採取状況	-				
採取場所	岩手県境水処理作業所			試料受付日	平成26年1月8日
件名	平成25年度岩手・青森県境不法投棄現場汚染水処理業務				
試料名	汚染水処理設備(処理水)			計量対象	水質

計量項目	(単位)	計量の結果	定量下限値	計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	-	7.4	小数1桁	JIS K 0102 12.1 (2008)
化学的酸素要求量 (COD)	(mg/L)	1.7	0.5	JIS K 0102 17 (2008)
浮遊物質 (SS)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号付表9 (H25改正)
カドミウム	(mg/L)	0.0003未満	0.0003	JIS K 0102 55.4 (2008)
全シアン	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0102 38.1及び38.3 (2008)
鉛	(mg/L)	0.001	0.001	JIS K 0102 54.4 (2008)
六価クロム	(mg/L)	0.005未満	0.005	JIS K 0102 65.2.4 (2008)
砒素	(mg/L)	0.008	0.001	JIS K 0102 61.4 (2008)
総水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表1 (H25改正)
アルキル水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表2 (H25改正)
ジクロロメタン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2 (1995)
四塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.0004未満	0.004	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2 (1995)
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.004未満	0.004	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0006未満	0.0006	JIS K 0125 5.2 (1995)
トリクロロエチレン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2 (1995)
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2 (1995)
ベンゼン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0125 5.2 (1995)
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	0.52	0.02	JIS K 0102 43.2.3 (2008)
ふっ素	(mg/L)	0.12	0.08	JIS K 0102 34.1 (2008)
ほう素	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0102 47.4 (2008)
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	H9環境庁告示第10号付表 (H24改正)
1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.005未満	0.005	S46環告第59号付表7 (H25改正)
		以下余白		

備考 ・ 計量に供した試料は持込試料です。

考



濃度計量証明書

日本国土開発株式会社 殿

計量証明事業登録 岩手県 第70号
 事業者 エヌエス環境株式会社
 〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-9
 事業所 総合分析センター
 〒020-0122 岩手県盛岡市みちのけ4-1-3番33
 Tel (019) 643-8911

計量管理者 谷藤 伸也
 環境計量士(濃度関係) 登録番号 第4395号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

試料採取日	平成26年2月5日	採取時刻	11:45	採取者/所属	- / 日本国土開発株式会社
採取状況	-				
採取場所	岩手県境水処理作業所	試料受付日	平成26年2月6日		
件名	平成25年度岩手・青森県境不法投棄現場汚染水処理業務				
試料名	汚染水処理設備(処理水)	計量対象	水質		

計量項目	(単位)	計量の結果	定量 下限値	計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	-	6.2	小数1桁	JIS K 0102 12.1 (2008)
化学的酸素要求量(COD)	(mg/L)	5.8	0.5	JIS K 0102 17 (2008)
浮遊物質(SS)	(mg/L)	1未満	1	S46環告第59号付表9 (H25改正)
カドミウム	(mg/L)	0.0003未満	0.0003	JIS K 0102 55.4 (2008)
全シアン	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0102 38.1及び38.3 (2008)
鉛	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 54.4 (2008)
六価クロム	(mg/L)	0.005未満	0.005	JIS K 0102 65.2.4 (2008)
砒素	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0102 61.4 (2008)
総水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表1 (H25改正)
アルキル水銀	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	S46環告第59号付表2 (H25改正)
ジクロロメタン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2 (1995)
四塩化炭素	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	0.0004未満	0.004	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2 (1995)
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	0.004未満	0.004	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	0.0006未満	0.0006	JIS K 0125 5.2 (1995)
トリクロロエチレン	(mg/L)	0.002未満	0.002	JIS K 0125 5.2 (1995)
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.0005未満	0.0005	JIS K 0125 5.2 (1995)
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	JIS K 0125 5.2 (1995)
ベンゼン	(mg/L)	0.001未満	0.001	JIS K 0125 5.2 (1995)
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	7.0	0.02	JIS K 0102 43.2.3 (2008)
ふっ素	(mg/L)	0.08未満	0.08	JIS K 0102 34.1 (2008)
ほう素	(mg/L)	0.1未満	0.1	JIS K 0102 47.4 (2008)
塩化ビニルモノマー	(mg/L)	0.0002未満	0.0002	H9環境庁告示第10号付表 (H24改正)
1,4-ジオキサン	(mg/L)	0.005未満	0.005	S46環告第59号付表7 (H25改正)
		以下余白		

備 考 ・ 計量に供した試料は持込試料です。

考

N地区汚染土壌対策について

1 揮発性有機化合物（VOC）詳細調査

(1) 調査結果（要旨）

岩手・青森県境不法投棄現場のN地区において、第59回原状回復対策協議会における御意見等を踏まえ、昨年12月に地下水に含まれる揮発性有機化合物（VOC）の詳細調査を実施しました。

その結果、調査した82区画中、環境基準の超過は西側（県境周辺）の一部、14区画（=17%）で、確認されましたが、東側の区画では、基準の超過が認められませんでした。

N地区の地下水は東側から西側に流れていることから、上記の状況は、雨水浸透で涵養された地下水により汚染物質が県境周辺に集積して環境基準の超過に至ったものと推定され、土壌の浄化過程における過渡的な現象と考えられます。

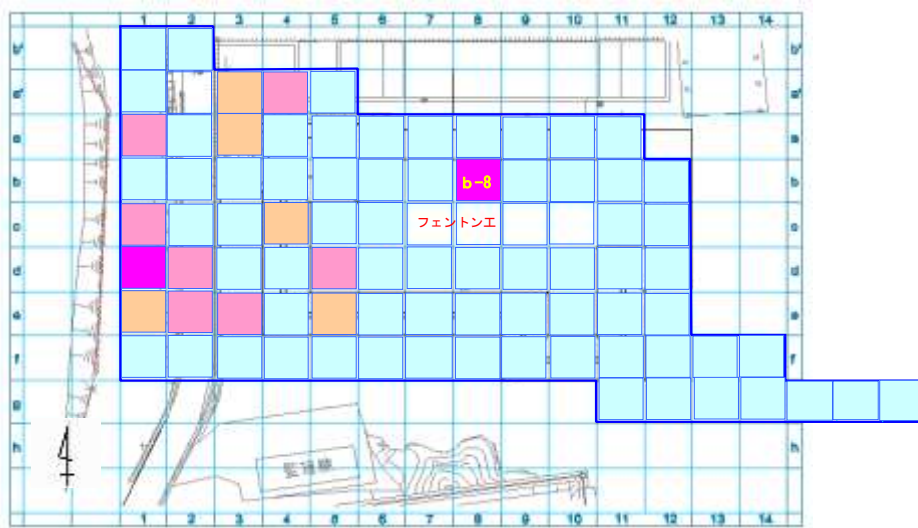


図-1 調査結果位置図

<凡例> □：環境基準値以下、■：5倍以下、■：5～50倍、■：50倍以上

□：採水不能5区画

(a' 2：表流水が井戸内に流入し冠水、C7～10：フェントン工実施のため井戸撤去)

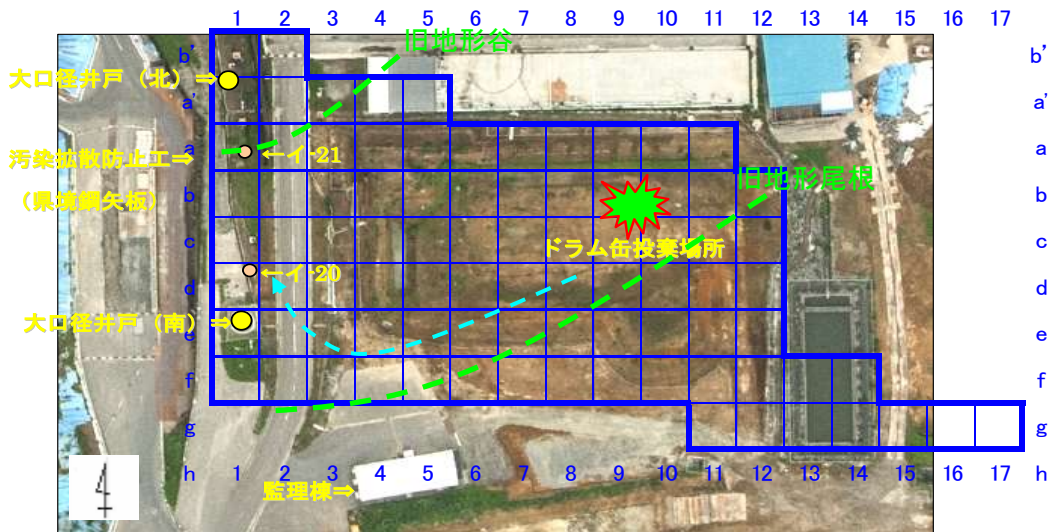


図-2 N地区現況写真（H25.7）

(2) VOC濃度の状況 (H25.12)

全域調査(12月)において、b-8区画でテトラクロロエチレン(0.90mg/L:環境基準の90倍)、d-1区画でベンゼン(0.97mg/L:環境基準の97倍)が高濃度で検出されました。

b-8区画の汚染は、周辺部の区画でVOCが検出されていないこと(図-3のとおり)、また、同区画がドラム缶の投棄場所近傍であったことから、その区画内に残留していたものと考えられます。

d-1区画の汚染は、同区画が地下水の下流域にあることから、汚染物質が県境周辺に集積して濃度の増加に至ったものと推定されます。

表-1 環境基準超過区画のVOC濃度

単位: mg/L

計量項目	a'-3	a'-4	a-1	a-3	b-8	c-1	c-4	d-1	d-2	d-5	e-1	e-2	e-3	e-5	環境基準値
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.033	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.004	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	0.0008	<0.0002	<0.0002	0.005	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	0.0056	0.0084	0.025	0.044	0.0083	0.11	0.03	0.015	0.0052	0.032	0.011	0.0005	0.004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009	0.002	<0.002	0.005	<0.002	0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	0.02	0.014	0.029	0.06	0.58	0.27	0.053	0.65	0.22	0.27	0.12	0.21	<0.004	0.008	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	0.002	0.005	0.0022	<0.0005	0.055	0.014	0.0032	0.0098	0.011	0.012	0.0018	0.015	<0.0005	0.0011	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0035	0.006
トリクロロエチレン	0.044	0.044	0.16	0.005	0.32	0.17	0.024	0.1	0.15	0.17	0.007	0.11	<0.002	0.016	0.03
テトラクロロエチレン	0.042	0.079	0.0082	0.001	0.9	0.047	0.0019	0.013	0.067	0.16	0.0071	0.054	<0.0005	0.037	0.01
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン	0.002	<0.001	0.027	0.034	0.14	<0.001	0.001	0.97	0.058	0.002	0.021	0.18	0.19	<0.001	0.01

50-100倍 5-50倍 5倍以下 基準値以下

表-2 b-8区画周辺のVOC濃度

単位: mg/L

計量項目	a-7	a-8	a-9	b-7	b-8	b-9	環境基準値
ジクロロメタン	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.033	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.005	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.0006	0.025	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.58	<0.004	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.055	<0.0005	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.32	<0.002	0.03
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.9	<0.0005	0.01
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.14	<0.001	0.01

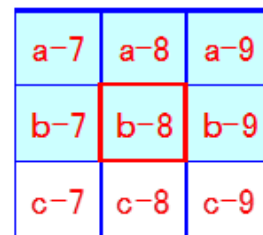


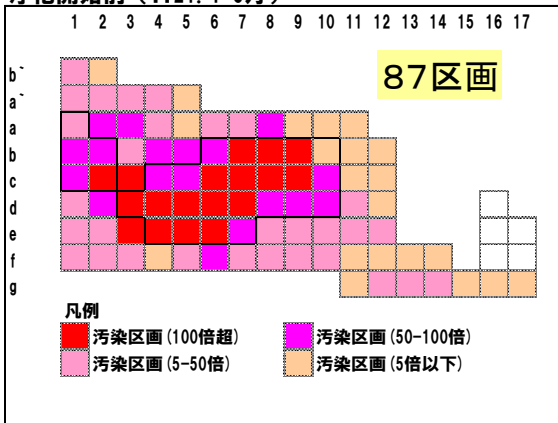
図-3 b-8周辺区画位置図

※c-7、8は、フェントン工区画

2 VOC汚染の推移

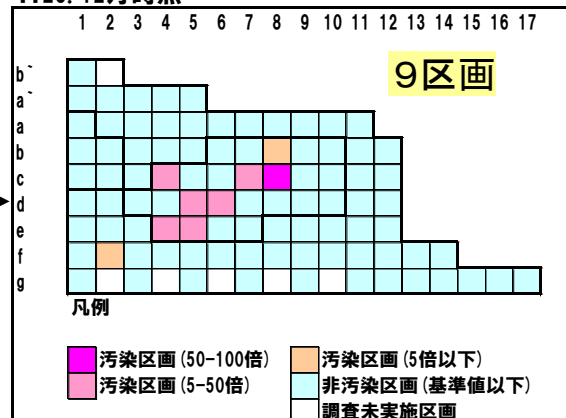
N地区におけるVOC測定濃度経過及び汚染状況の推移は、以下のとおりです。

浄化開始前(H21.4-6月)



N地区の全域でVOC汚染を確認。

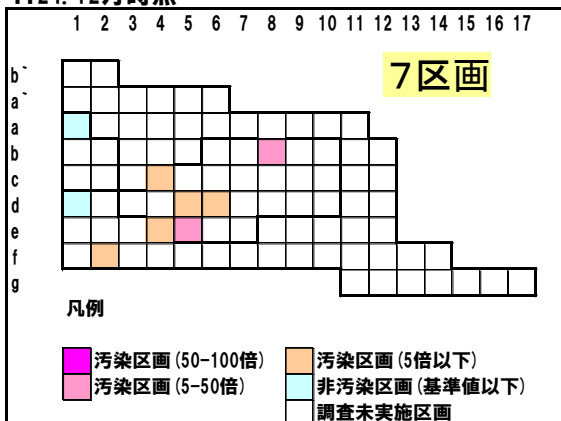
H23.12月時点



全区画でVOC汚染確認を調査。

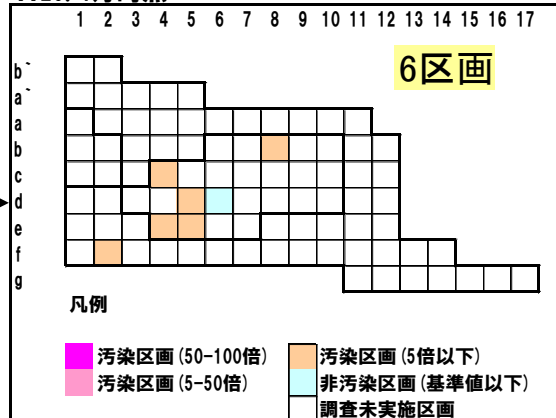
※この時点では、中央部区画にのみ残留。

H24. 12月時点



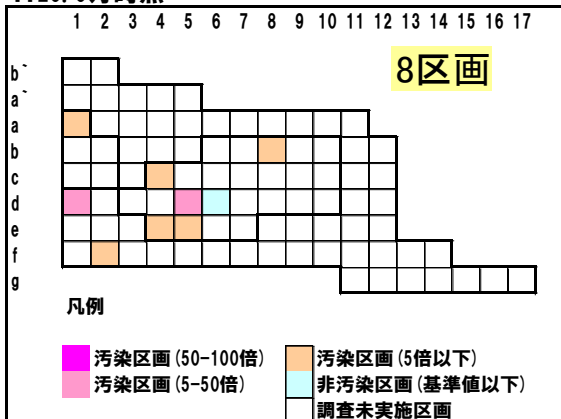
H24年度以降、中央部の汚染残留区画及び県境部の定期モニタリング井戸2箇所（イ-20=d-1、イ-21=a-1）で定点調査。

H25. 4月時点



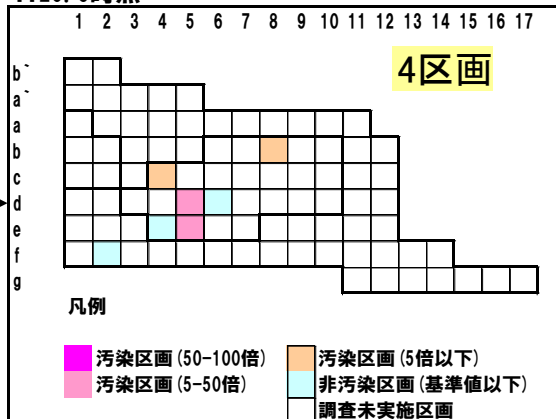
N地区中央部のVOC濃度低下を確認。

H25. 5月時点

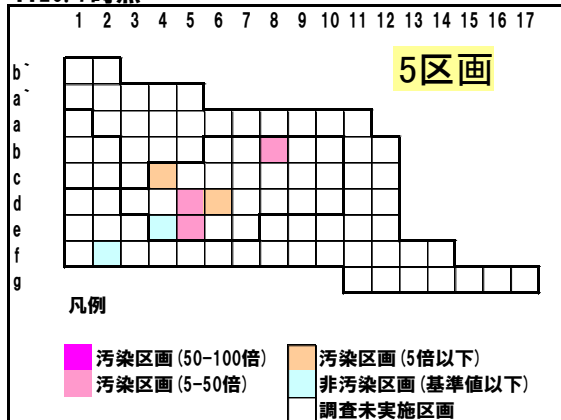


県境部井戸2箇所で基準超過を確認。

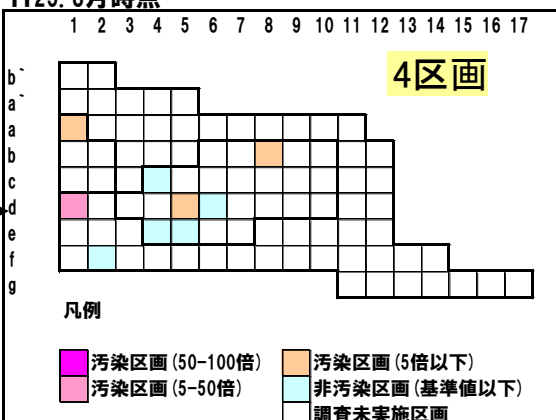
H25. 6時点



H25. 7時点

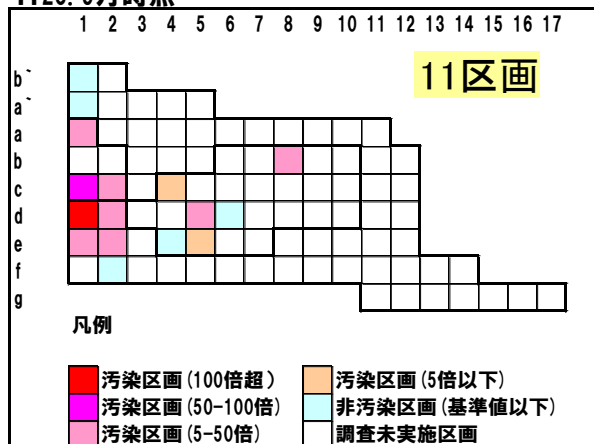


H25. 8月時点

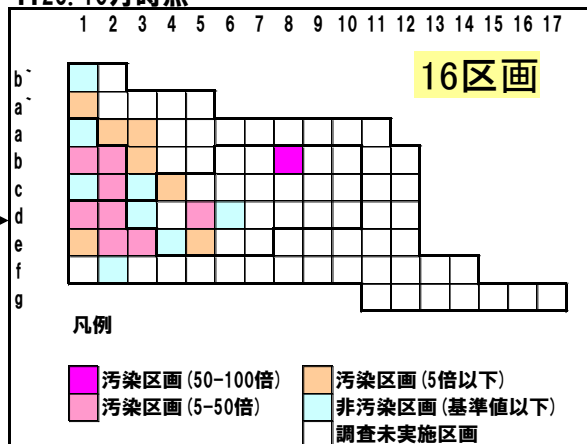


5月調査に引き続き県境部井戸2箇所（イ-20=d-1、イ-21=a-1）で基準超過を確認。

H25. 9月時点

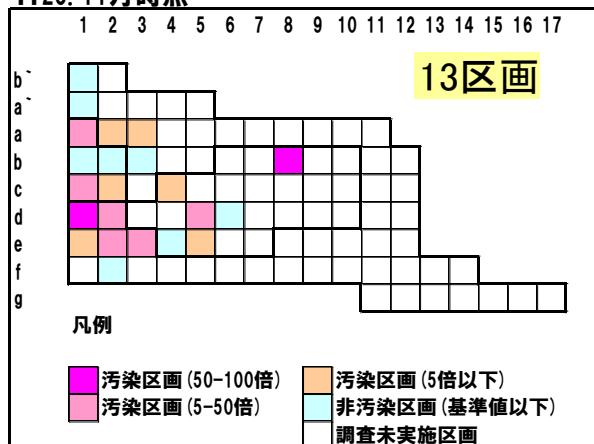


H25. 10月時点

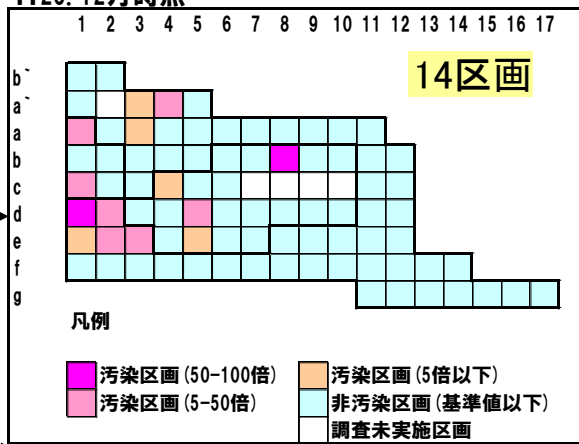


県境部井戸2箇所周辺部で範囲を広げて調査。

H25. 11月時点



H25. 12月時点



全区画でVOC汚染確認を調査。
汚染区画は、遮水壁周辺に集中。

H26. 1月時点

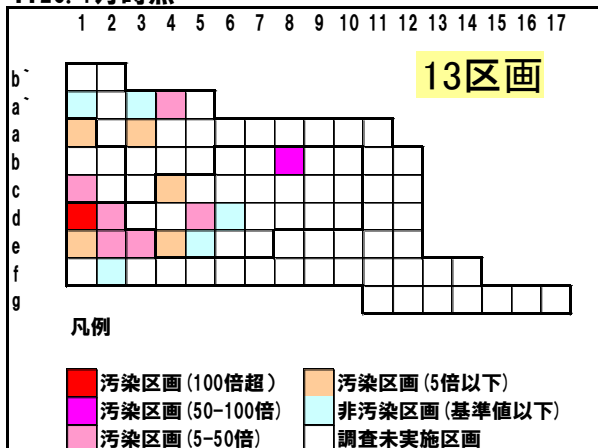


表-3 VOC濃度 (H26.2) ※積雪の影響により9区画のみ実施

単位：mg/L

計量項目	d-1(イ-20)	a-1(イ-21)	b-8	c-4	d-5	d-6	e-4	e-5	f-2	環境基準値
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	0.044	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	0.0021	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	0.12	0.0080	0.03	0.0079	<0.0004	0.0004	0.0026	<0.0004	0.0018	0.004
1,1-ジクロロエチレン	0.009	<0.002	0.004	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	0.82	0.056	0.55	0.095	<0.004	0.007	<0.004	<0.004	0.018	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	0.030	0.0027	0.038	0.0044	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.013	1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
トリクロロエチレン	0.37	0.028	0.44	0.039	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.004	0.03
テトラクロロエチレン	0.12	0.012	0.71	0.048	0.0032	0.0029	<0.0005	<0.0005	0.0026	0.01
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
ベンゼン	0.99	0.056	0.22	0.044	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.005	0.01

50-100倍
 5-50倍
 5倍以下
 基準値以下

3 今後の対応

VOCの回収を促進するため、昨年12月から注水及び揚水の増量により洗い出しを強化しています。

今後は、汚染土壌浄化対策検討委員会などの助言を得ながら、必要に応じて、揚水井の増設などの対策を講じ、土壌浄化の早期完了を目指します。



図-3 N地区現況写真 (H25.11)



b-8 周辺で揚水を強化 (2箇所増)

湛水面積の拡大

図-4 N地区現況写真 (H25.12)

平成 25 年度環境(定期)モニタリング結果(総括)

○大気モニタリング：別紙 1 のとおり

1 調査時期

- ・平成 25 年 5 月 27 日 ～ 平成 25 年 6 月 5 日 (春期)
- ・平成 25 年 7 月 22 日 ～ 平成 25 年 7 月 30 日 (夏期)
- ・平成 25 年 10 月 1 日 ～ 平成 25 年 10 月 11 日 (秋期)
- ・平成 25 年 12 月 1 日 ～ 平成 25 年 12 月 10 日 (冬期)

2 調査地点

場内 4 地点及び周辺 2 地点

3 調査項目

(1) イー 1 ～ 3

二酸化窒素等 8 項目

(2) イー 1 a ～ c

有害大気汚染物質等 4 項目、悪臭物質 2 項目

4 調査結果総括

全地点で、全項目について環境基準値等を下回った。

○水質モニタリング：別紙 2 のとおり

1 調査時期

- ・平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 1 月 (年 10 回)

2 調査地点

(1) 水質：32 箇所

- ・地下水：21 ヶ所 (場内中央部 6 ヶ所、西側県境部 4 ヶ所、東側周辺部 11 ヶ所)
- ・表流水(河川、沢、調整池等)：11 ヶ所

(2) 底質(河川・沢等)：6 ヶ所

3 調査項目

(1) 水質

生活環境項目 (pH 等 6 項目)

健康項目 (カドミウム等 29 項目)

要監視項目 (トルエン等 2 項目)

その他 (電気伝導度等 5 項目) 計 42 項目

(2) 底質

環境基準項目 (カドミウム等 26 項目)

その他 (ダイオキシン類等 2 項目) 計 28 項目

4 調査結果総括

(1) 地下水

- ・1, 4-ジオキサンの検出状況：複数の地域で環境基準値超過が継続している。いずれの地点でも濃度の推移に大きな変動なし (B 地区(環境基準値の 10 倍程度)、J 地区(環境基準値の 8 倍程度)、K 地区(環境基準値の 5 倍程度)が比較的高い濃度で推移している)。
- ・重金属類の検出状況：12 月に検出されたイ-18 のカドミウムを除き、環境基準値に適合した。

- ・VOCの検出状況：キャッピングシート撤去後、N地区西側で一時的な濃度上昇が認められた。雨水浸透により地下水が涵養されたことに伴う過渡的な現象と考えられる。環境基準の早期達成に向けて、適切に対策を講じられるよう、注視していく必要がある。

- ・その他の項目の検出状況：前年度から超過が継続していたイ-5のダイオキシン類が、8月以降環境基準に適合した。

(2) 周辺表流水

- ・1,4-ジオキサンの検出状況：公共用水域では環境基準値超過地点なし。北調整池は環境基準値の約1.3倍程度で推移し超過が継続している。

- ・重金属類の検出状況：公共用水域については、環境基準超過地点なし。平成26年1月に南調整池浸出水において総水銀が基準値超過。

- ・VOCの検出状況：環境基準超過地点なし。

平成26年度環境（定期）モニタリング計画（水質、大気）について（案）

○ 大気モニタリングについて

1 平成25年度大気モニタリング計画からの変更点

廃止する。

2 変更理由

廃棄物の掘削作業が平成24年度で完了し、その後1年間経過観察を行っても異常が認められないこと

○ 水質モニタリングについて：別紙3のとおり

1 平成25年度水質モニタリング計画からの変更点

(1) 測定項目から**エチルベンゼン**を削除すること。

(2) 南調整池浸出水における総水銀及びアルキル水銀の測定頻度を年10回から年4回に戻すこと。

2 変更理由

(1) エチルベンゼンについて

エチルベンゼンは有機溶剤に含まれており、**現場に投棄された廃棄物による汚染拡散がないことの指標**として、これまでモニタリングを継続してきた。場内中央部及び西側県境部を中心に検出されていたが、**廃棄物の掘削作業が完了した平成24年度以降は遞減傾向にあり**、現場に投棄された廃棄物による汚染拡散が認められないこと。（環境基準項目に該当しない）。

(2) 南調整池浸出水における総水銀及びアルキル水銀の測定頻度について

平成22年度に、掘削作業の影響と思われる環境基準の超過が継続したため、平成23年度以降は測定頻度を年4回から年10回（冬期を除く毎月）に増やした。その結果、平成23、24年度に本格的に掘削作業が行われても継続した環境基準の超過が確認されなかった。

廃棄物の掘削作業も完了していること、同地点に設けられているため枡からの越流により浸出水が**外部の公共用水域に直接流入するおそれが少ないこと**の2点から、測定頻度を通常の項目同様年4回に戻し監視しても支障がないと判断したこと。（検出状況に**変化があった場合は測定頻度を再度増やす等、柔軟に対応**する。）

平成 26 年度事業計画について

1 1,4-ジオキサン対策

- ・ 重点的に 1,4-ジオキサン高濃度エリア（A－B 地区）を浄化するため、土壌の掘削（法面整形）、キャッピング撤去、貯水池設置による積極的な洗い出しを行う。
- ・ 継続して既設の揚水井戸から揚水を実施し、地下水の浄化を図る。

2 N 地区汚染土壌対策

N 地区の汚染残留区画については、注水及び揚水の増量により洗い出しを強化するとともに、今後、必要に応じて、揚水井の増設などの対策を講じ、土壌浄化の早期完了を目指す。

3 A 地区県境部遮水壁工

今年度から工事を行っている A 地区の県境部遮水壁工を早期に完成させ、A 地区浄化の際に発生する汚染地下水が青森県の事業に影響を及ぼさないようにする。

4 跡地整形業務

岩手県側地下水を県境部から東側に自然流出させる工事に着手する（跡地整形業務は、平成 29 年度まで継続）。

平成26年度 青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会開催日程(案)

- ・第61回原状回復対策協議会 5月17日(土曜日)
- ・第62回原状回復対策協議会 9月20日(土曜日)(現地視察予定)
- ・第63回原状回復対策協議会 3月7日(土曜日)

【提案】

平成26年度は年間3回の開催とする。

なお、必要に応じて開催日の変更又は追加で開催することがある。

平成25年度大気モニタリング結果

総括表-1 (平成25年度結果表)

調査地点	時期	二酸化窒素 (単位: ppm)			浮遊粒子状物質 (単位: mg/m ³)			ダイオキシン類 (単位: pg-TEQ/m ³)	重金属類 (単位: μg/m ³)					
		日平均値			日平均値		最大値	7日間平均値	カドミウム	鉛	ヒ素	マンガン	水銀	
イ-1 場内 (発生源環境)	春期	0.001	~	0.005	0.010	~	0.026	0.069	0.0061	< 0.0001	0.010	0.0028	0.079	0.0018
	夏期	0.001	~	0.004	0.005	~	0.014	0.043	0.0033	0.0002	0.0018	0.0014	0.002	0.0021
	秋期	0.002	~	0.006	0.003	~	0.013	0.027	0.0033	< 0.0001	0.0021	0.0009	0.002	0.0018
	冬期	0.001	~	0.004	0.004	~	0.015	0.155	0.0036	0.0001	0.0052	0.0011	0.0089	0.0016
	平均								0.0041	0.0001	0.0048	0.0016	0.023	0.0018
イ-2 二戸市浄法寺町 馬洗場内 (沿道環境)	春期	0.001	~	0.002	0.011	~	0.026	0.089	0.0065	< 0.0001	0.0056	0.0019	0.027	0.0018
	夏期	0.001	~	0.003	0.008	~	0.016	0.038	0.0042	0.0001	0.0022	0.0002	0.002	0.0017
	秋期	0.001	~	0.001	0.008	~	0.015	0.050	0.0033	< 0.0001	0.0014	0.0002	0.0019	0.0015
	冬期	0.001	~	0.003	0.008	~	0.025	0.127	0.0036	< 0.0001	0.0045	0.0010	0.0050	0.0015
	平均								0.0044	0.0001	0.0034	0.0008	0.0090	0.0016
イ-3 二戸市 根森地内 (一般環境)	春期	0.002	~	0.003	0.010	~	0.025	0.056	0.0056	< 0.0001	0.0057	0.0016	0.022	0.0018
	夏期	0.001	~	0.003	0.005	~	0.015	0.050	0.0052	0.0002	0.0021	0.0003	0.0024	0.0020
	秋期	0.000	~	0.001	0.004	~	0.015	0.072	0.0041	< 0.0001	0.0019	0.0002	0.0022	0.0021
	冬期	0.001	~	0.003	0.007	~	0.024	0.196	0.0040	0.0001	0.0063	0.0010	0.0052	0.0015
	平均								0.005	0.0001	0.0040	0.0008	0.0080	0.0019
環境基準 (日平均値)		0.04~0.06又はそれ以下			0.10以下		0.20以下							
環境基準 (年平均値)									0.6以下					
指針値 (年平均値)														0.04以下

(注) 「日平均値」は1時間値の日平均値、「最大値」は1時間値の最大値、測定値に付記した「<」は定量下限値未満であることを示す。

総括表-2 (平成25年度結果表)

調査地点	時期	有害大気汚染物質濃度 (単位: mg/m ³)				悪臭物質 (単位: mg/m ³)	
		ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	トルエン	キシレン
イ-1a 場内境界 県境北側	春期	0.0003	0.0001	< 0.0001	0.0024	0.0039	0.0028
	夏期	0.0003	< 0.0001	0.0002	0.00040	0.0027	0.0012
	秋期	0.0002	< 0.0001	< 0.0001	0.00019	0.0005	0.0002
	冬期	0.0005	< 0.0001	< 0.0001	0.00031	0.0009	0.0003
	平均	0.0003	0.0001	0.0001	0.0008		
イ-1b 北調整池	春期	0.0003	< 0.0001	< 0.0001	0.0027	0.0044	0.0008
	夏期	0.0004	< 0.0001	< 0.0001	0.0018	0.015	0.0019
	秋期	0.0008	< 0.0001	< 0.0001	0.00016	0.0052	0.0031
	冬期	0.0004	< 0.0001	< 0.0001	0.00030	0.0009	0.0002
	平均	0.0005	< 0.0001	< 0.0001	0.0012		
イ-1c 南調整池	春期	0.0003	< 0.0001	< 0.0001	0.0082	0.0063	0.0003
	夏期	0.0003	< 0.0001	< 0.0001	0.00040	0.0011	0.0006
	秋期	0.0002	< 0.0001	< 0.0001	0.00019	0.0005	0.0002
	冬期	0.0004	< 0.0001	< 0.0001	0.00048	0.0010	0.0002
	平均	0.0003	< 0.0001	< 0.0001	0.0023		
環境基準 (年平均値)		0.003以下	0.2以下	0.2以下	0.15以下		
規制基準 (敷地境界線)						38(10ppm)以下	4.4(1ppm)以下

(注) 測定値に付記した「<」は定量下限値未満であることを示す。

水質モニタリング結果概要(H25年度)

東側周辺部について、6-②-キ埋没により、廃止としていたイ-1で5月から7月まで採水。8月以降はイ-1濁水により、6-②-クで採水。

(1)1,4-ジオキサンの検出状況

①地下水(20地点(イ-10除く)):複数の地域で環境基準値超過が継続している。いずれの地点でも濃度の推移に大きな変動なし(B地区(環境基準値の10倍程度)、J地区(環境基準値の8倍程度)、K地区(環境基準値の5倍程度)が比較的高い濃度で推移している)。

②周辺表流水(11地点):公共用水域では環境基準値超過地点なし。北調整池は環境基準値の約1.3倍程度で推移し超過が継続している。

表1-1:地下水における1,4-ジオキサン濃度[mg/L]の測定結果

地域	地区	地点名	H23年度超過	H24年度超過	H25年度超過	H25.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月	基準値	備考
西側 県境部	K	イ-24	有	有	有	0.23	0.26	0.19	0.18	0.48	0.40	0.21	0.22	0.21	0.19	0.05	・5月以降6-②-キ埋没により、廃止としていたイ-1で採水。 ・8月以降イ-1濁水により、6-②-クで採水。
		イ-20	有	無	有	0.058	0.074	0.07	0.029	0.058	0.13	0.076	0.068	0.068	0.078		
		イ-21	有	有	有	0.09	0.09	0.065	0.19	0.081	0.13	0.14	0.095	0.06	0.075		
		イ-22	無	無	無	0.017	0.013	0.016	0.02	0.019	0.018	0.011	0.014	0.011	0.01		
場内 中央部	F	イ-8	有	無	無	0.025	0.028	0.035	0.023	0.029	0.041	0.032	0.022	0.026	0.021		
		イ-3	有	有	有	0.32	0.39	0.44	0.35	0.10	0.16	0.12	0.07	0.32	0.28		
	B	イ-5	無	無	無	0.012	0.006	0.005	<0.005	0.008	0.013	0.021	0.014	0.010	0.006		
		イ-1	有	有	有		0.08	0.46	0.58								
		イ-1(6-②-キ)		有	有	2.3											
		イ-1(6-②-ク)			有					0.17	0.98	0.86	0.64	0.44	0.61		
G	イ-4	有	有	有	0.016	0.071	0.034	0.052	0.12	0.10	0.11	0.065	0.08	0.092			
	イ-6(イ-6-1)	有	有	有	0.025	0.37	0.29	0.086	0.47	0.49	0.46	0.67	0.80	0.48			
東側 周辺部	J	イ-12	有	有	有	0.042	0.045	0.061	(欠測)	0.017	0.011	0.025	0.027	0.037	0.019		
		イ-15	有	有	有	0.31	0.56	0.63	0.12	0.54	0.68	0.20	0.48	0.45	0.45		
	O	イ-13	有	有	有	0.043	0.046	0.042	0.039	0.036	0.051	0.044	0.032	0.028	0.034		
		イ-17	無	無	無	0.041	0.038	0.042	0.041	0.038	0.042	0.030	0.04	0.038	0.043		
	H	イ-9	有	有	有	0.047	0.056	0.06	0.056	0.050	0.058	0.049	0.061	0.051	0.051		
		イ-18	有	有	無	0.05	0.049	0.049	0.048	0.048	0.049	0.046	0.006	0.025	0.034		
	地区 外	イ-10	-	-	-												
		イ-11	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
		イ-14	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
		イ-16	無	無	無	0.005	0.007	0.007	0.008	0.013	0.013	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
イ-19		無	無	無	0.016	0.009	0.015	0.010	0.010	0.011	0.011	0.008	0.006	0.007			

表1-2:周辺表流水における1,4-ジオキサン濃度[mg/L]の測定結果

地点	H23年度超過	H24年度超過	H25年度超過	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	基準値	備考	
公共 用水域	直近の沢No.1	無	無	無	0.012	0.014	0.019	0.015	0.017	0.018	0.016	0.015	0.015	0.017	0.05	
	直近の沢No.2	無	有	無	0.031	0.02	0.012	0.009	0.017	0.025	0.016	0.017	0.018	0.015		
	小端川上流	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	小端川下流	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	境沢上流	無	無	無	<0.005	0.012	0.015	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	溜池	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	十文字川支流	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
調整 池	北調整池	有	有	有	0.11	0.079	0.045	(欠測)	0.037	0.065	(欠測)	0.062	(欠測)	(欠測)		
	南調整池	有	無	無	0.019	0.043	0.036	0.029	<0.005	0.008	0.008	0.009	0.008	0.021		
	北調整池浸出水	有	有	有	0.07	0.061	0.035	0.015	0.031	0.046	0.028	0.036	0.030	0.047		
	南調整池浸出水	無	無	無	0.008	0.008	0.010	0.013	0.015	0.02	0.014	0.011	0.009	0.026		

環境基準を超過した観測値
 定量下限値を超えて検出された観測値

(2) 重金属類の検出状況

- ①地下水(20地点(イ-10除く)) : 12月分に検出されたイ-18のカドミウムを除き、環境基準値に適合した。
 ②周辺表流水 : 公共用水域については、環境基準値超過地点なし。平成26年1月に南調整池浸出水において総水銀が基準値を超過した。

表2-1: 地下水における重金属類濃度[mg/L]の測定結果

地域	地区	地点名	測定項目	H24.5月	8月	10月	12月	H25.1月	5月	8月	10月	12月	H26.1月	基準値
西側県境部	K	イ-24	超過項目なし											
	N	イ-20	鉛	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.002	<0.002	<0.002		0.01
		イ-21	カドミウム	0.0073	0.0018	0.011	0.0007		0.0004	0.0007	<0.0003	<0.0003		0.003
	鉛		0.013	<0.002	0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		0.01	
		イ-22	超過項目なし											
場内中央部		イ-8	超過項目なし											
	F	イ-3	超過項目なし											
		イ-5	超過項目なし											
	B	イ-1 (6-②-キ) (6-②-ク)	超過項目なし											
	G	イ-4	超過項目なし											
東側周辺部	J	イ-6(イ-6-1)	超過項目なし											
		イ-12	超過項目なし											
		イ-15	カドミウム	0.0008	0.0007	0.0068	<0.0003		0.0008	0.0006	0.0007	<0.0003		0.003
	O	イ-13	超過項目なし											
		イ-17	超過項目なし											
	H	イ-9	超過項目なし											
	地区外	イ-18	カドミウム	0.0003	0.0008	0.0068	0.0006		0.0005	0.0004	0.0024	0.0034		0.003
			総水銀	<0.0005	0.0007	<0.0005	0.0006		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		0.0005
		イ-10	測定項目なし											
		イ-11	超過項目なし											
	イ-14	超過項目なし												
	イ-16	超過項目なし												
	イ-19	超過項目なし												

表2-2: 周辺表流水における重金属類濃度[mg/L]の測定結果

地点	測定項目	H24.5月	8月	10月	12月	H25.1月	5月	8月	10月	12月	H26.1月	基準値
公共用水域	直近の沢No.1	超過項目なし										
	直近の沢No.2	超過項目なし										
	小端川上流	超過項目なし										
	小端川下流	超過項目なし										
	境沢上流	超過項目なし										
	溜池	超過項目なし										
	十文字川支流	超過項目なし										
調整池	北調整池	超過項目なし										
	南調整池	超過項目なし										
	北調整池浸出水	超過項目なし										
	南調整池浸出水	超過項目なし	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0006	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0016

(3) VOCの検出状況

- ①地下水(20地点(イ-10除く))：キャッピングシート撤去後、N地区西側で一時的な濃度上昇が認められた。雨水浸透により地下水が涵養されたことに伴う過渡的な現象と考えられる。環境基準の早期達成に向けて、適切に対策を講じられるよう、注視していく必要がある。
- ア 西側県境部(4地点)：イ-20、イ-21で複数項目が環境基準超過継続。
- イ 場内中央部(6地点)：超過項目数が少なくなり、おおむね減少傾向にある。
- ウ 東側周辺部(10地点)：平成24年度はベンゼンの超過が見られたが、今年度は環境基準超過項目なし。

②周辺表流水：環境基準超過地点なし。

表3-1：地下水におけるVOC濃度[mg/L]の測定結果

地域	地区	地点名	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	11月	12月	H26.1月	2月	基準値		
西側県境部	K	イ-24	ジクロロメタン	0.065	0.007	(欠測)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02		
			N	イ-20	1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.024	0.13	0.085	0.13	0.11	0.18	0.12	0.004
	N	イ-20	1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.10	0.86	0.56	0.92	0.65	1.4	0.88	0.04		
			ベンゼン	<0.001	<0.001	0.002	0.002	0.14	0.82	0.71	1.2	0.97	1.9	0.98	0.01		
			トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.044	0.23	0.19	0.22	0.1	0.19	0.19	0.03		
			テトラクロロエチレン	0.0010	0.0008	<0.0005	<0.0005	0.0026	0.033	0.0041	0.033	0.033	0.013	0.0074	0.051	0.01	
			塩化ビニルモノマー	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0002	0.032	0.11	0.076			0.18			0.002	
			イ-21	イ-21	1,2-ジクロロエタン	0.0017	0.0031	0.0011	0.0005	0.0041	0.0068	0.0074	0.013	0.0056	0.0096	0.0089	0.004
					1,2-ジクロロエチレン	0.0120	0.0180	0.0070	0.0040	0.024	0.032	0.031	0.071	0.029	0.059	0.058	0.04
					トリクロロエチレン	0.0060	0.010	0.004	0.003	0.016	0.012	0.031	0.048	0.16	0.035	0.0031	0.03
					テトラクロロエチレン	0.0035	0.0100	0.0024	0.0024	0.0089	0.0093	0.028	0.034	0.0082	0.016	0.018	0.01
					ベンゼン	0.009	0.015	0.007	0.007	0.022	0.046	0.053	0.07	0.027	0.061	0.051	0.01
					塩化ビニルモノマー	0.008	0.0036	0.0008	0.0004	0.0079	0.023	0.016			0.0081		
			場内中央部	F	イ-3	イ-22	超過項目なし										
イ-8	超過項目なし																
B	イ-1(6-②-キ)	イ-1		イ-3	超過項目なし												
				イ-5	超過項目なし												
				ベンゼン	<0.001	(欠測)	0.020	0.011	0.003								0.01
				イ-1(6-②-ク)						<0.001	<0.001		<0.001				
G	イ-4	イ-4		テトラクロロエチレン	<0.0005	0.0006	0.018	0.0049	0.0005	0.0007	<0.0005		0.0011		0.01		
				J	イ-4	テトラクロロエチレン	0.26	0.083	0.029	0.0005	<0.0005	0.0042	0.017		0.0029		0.01
東側周辺部	地区外	イ-6(イ-6-1)		イ-6	ジクロロメタン	0.12	0.010	0.020	<0.002	<0.002	0.004	0.011		0.01		0.02	
					塩化ビニルモノマー	0.0003	<0.0002	0.002	0.011	0.0015	0.0030	0.0020		0.0030		0.002	
			イ-12		ベンゼン	0.028	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001		0.01	
			イ-15		超過項目なし												
			O		イ-13	ベンゼン	0.035	0.041	0.022	0.007	0.004	0.003	0.002		0.002		0.01
			H		イ-17	超過項目なし											
東側周辺部	地区外	イ-9	イ-9	イ-18	超過項目なし												
				イ-18	超過項目なし												
				イ-10	測定項目なし												
				イ-11	超過項目なし												
				イ-14	超過項目なし												
				イ-16	超過項目なし												
イ-19	超過項目なし																

表3-2：周辺表流水におけるVOC濃度[mg/L]の測定結果

地点	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	11月	12月	H26.1月	基準値
公共用水域	直近の沢No.1	超過項目なし										
	直近の沢No.2	超過項目なし										
	小端川上流	超過項目なし										
	小端川下流	超過項目なし										
	境沢上流	超過項目なし										
	溜池	超過項目なし										
	十文字川支流	超過項目なし										
調整池	北調整池	超過項目なし										
	南調整池	超過項目なし										
	北調整池浸出水	超過項目なし										
	南調整池浸出水	超過項目なし										

(4)硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の検出状況

①地下水(21地点): 東側周辺部を中心に環境基準値超過が継続している。いずれの地点でも濃度の推移に大きな変動なし。

②周辺表流水:

ア 公共用水域: 大きな濃度の変動はないが、直近の沢No.1で環境基準値超過が継続している。

イ 調整池: 大きな濃度の変動はないが、北調整池、南調整池浸出水で環境基準値超過が継続している。

表4-1: 地下水における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素濃度の測定結果(単位mg/L)

地域	地区	地点名	H24.5月	8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準
西側県境部	K	イ-24	<1	<1	(欠測)	6	3	20	6	7	10
	N	イ-20	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
		イ-21	3	1	<1	1	<1	<1	<1	<1	
		イ-22	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
場内中央部	F	イ-8	1	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
		イ-3	<1	<1	<1	<1	<1	16	<1	<1	
	B	イ-5	<1	<1	<1	<1	<1	1	<1	<1	
		イ-1(6-②-キ)		(欠測)	(欠測)	<1	(欠測)				
	G	イ-1(6-②-ク)	(欠測)					2	<1	(欠測)	
		イ-4	<1	1	14	8	<1	1	<1	<1	
	東側周辺部	J	イ-6(イ-6-1)	(欠測)	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
イ-12			15	15	17	35	<1	12	9	6	
O		イ-15	1	11	<1	<1	<1	<1	1	<1	
		イ-13	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
H		イ-17	39	41	41	43	49	48	49	47	
		イ-9	1	1	<1	<1	1	1	1	1	
地区外		イ-18	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
		イ-10	19	28	14	28	30	29	27	29	
		イ-11	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
		イ-14	2	2	2	<1	2	2	2	2	
	イ-16	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
		イ-19	35	28	25	18	36	28	31	37	

表4-2: 周辺表流水における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素濃度の測定結果(単位mg/L)

地点	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準	
公共用水域	直近の沢No.1	10	10	9	10	12	11	12	11	10
	直近の沢No.2	3	1	<1	6	5	7	3	4	
	小端川上流	2	1	1	3	3	3	2	3	
	小端川下流	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
	境沢上流	2	2	1	2	4	1	1	3	
	溜池									
	十文字川支流									
調整池	北調整池	5	(欠測)	(欠測)	19	18	23	(欠測)	(欠測)	
	南調整池	2	4	2	3	6	3	4	6	
	北調整池浸出水	4	4	<1	12	11	15	1	3	
	南調整池浸出水	16	15	8	17	20	17	17	18	

(5)その他項目の検出状況

①地下水(20地点(イ-10除く)):前年度から超過が継続していたイ-5のダイオキシン類が、8月以降環境基準に適合。

ア 西側県境部(4地点):超過項目なし。

イ 場内中央部(6地点):イ-6で8月にふっ素が環境基準値を超過したが、以降は環境基準に適合。

ウ 東側周辺部(10地点):超過項目なし。

②周辺表流水:公共用水域、調整池いずれも環境基準超過項目なし。

表5-1:地下水におけるその他項目の測定結果(単位mg/L。ただし、ダイオキシン類はpg-TEQ/L)

地域	地区	地点名	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準値	備考	
西側県境部	K	イ-24	超過項目なし											
	N	イ-20	超過項目なし											
		イ-21	超過項目なし											
		イ-22	超過項目なし											
場内中央部	F	イ-8	超過項目なし											
		イ-3	超過項目なし											
		イ-5	ふっ素	<0.1	1.1	1.7	0.1	0.5	0.3	<0.1	0.1	0.8		
			イ-5	ダイオキシン類	0.52	3.4	12	45	7.0	0.2	0.8	1.0	1	
	B	イ-1	ほう素	1.4	(欠測)			(欠測)					1	
		イ-1(6-②-キ)				(欠測)	<0.1							
		イ-1(6-②-ク)							0.8	(欠測)	(欠測)			
	G	イ-4	超過項目なし											
J	イ-6(イ-6-1)	ふっ素		0.1	0.2	0.3	0.3	1.0	0.2	0.4	0.8			
東側周辺部		イ-12	超過項目なし											
		イ-15	超過項目なし											
	O	イ-13	超過項目なし											
		イ-17	超過項目なし											
	H	イ-9	超過項目なし											
	地区外	イ-18	超過項目なし											
		イ-10	超過項目なし											
		イ-11	超過項目なし											
		イ-14	超過項目なし											
		イ-16	超過項目なし											
	イ-19	超過項目なし												

表5-2:周辺表流水におけるその他項目の測定結果(単位mg/L。ただし、ダイオキシン類はpg-TEQ/L)

地点	測定項目	H24.5月	H24.8月	10月	12月	H25.5月	8月	10月	12月	基準値	備考
直近の沢No.1	超過項目なし										
直近の沢No.2	超過項目なし										
小端川上流	超過項目なし										
小端川下流	超過項目なし										
境沢上流	超過項目なし										
溜池	超過項目なし										
十文字川支流	超過項目なし										
北調整池	超過項目なし										
北調整池浸出水	超過項目なし										
南調整池	超過項目なし										
南調整池浸出水	超過項目なし										

表6:底質分析結果一覧表(H25.7(年1回)):環境基準超過地点なし。

分析項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川 上流	境沢上流	北調整池	南調整池	環境基準
1 カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
2 全シアン	ND (<0.1)	ND (<0.1)	ND (<0.1)	ND (<0.1)	ND (<0.1)	ND (<0.1)	検出されないこと
3 鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
4 六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05
5 砒素	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	0.01
6 総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	検出されないこと
8 PCB	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	ND (<0.0005)	検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
13 シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
19 チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
20 シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
21 チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
22 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
24 ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	0.1	0.8
25 ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
26 有機燐	ND (<1)	ND (<1)	ND (<1)	ND (<1)	ND (<1)	ND (<1)	検出されないこと
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/g)	0.39	2.3	0.19	6.2	3.2	31	150
28 熱灼減量(%-dry)	26	15	11	26	11	8.2	—

備考1)ダイオキシン類は、水底の底質における環境基準を比較対象とする。

備考2)単位は特に記載がない限り、mg/L

備考3) ■:環境基準を超過した観測値 ■:環境基準設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

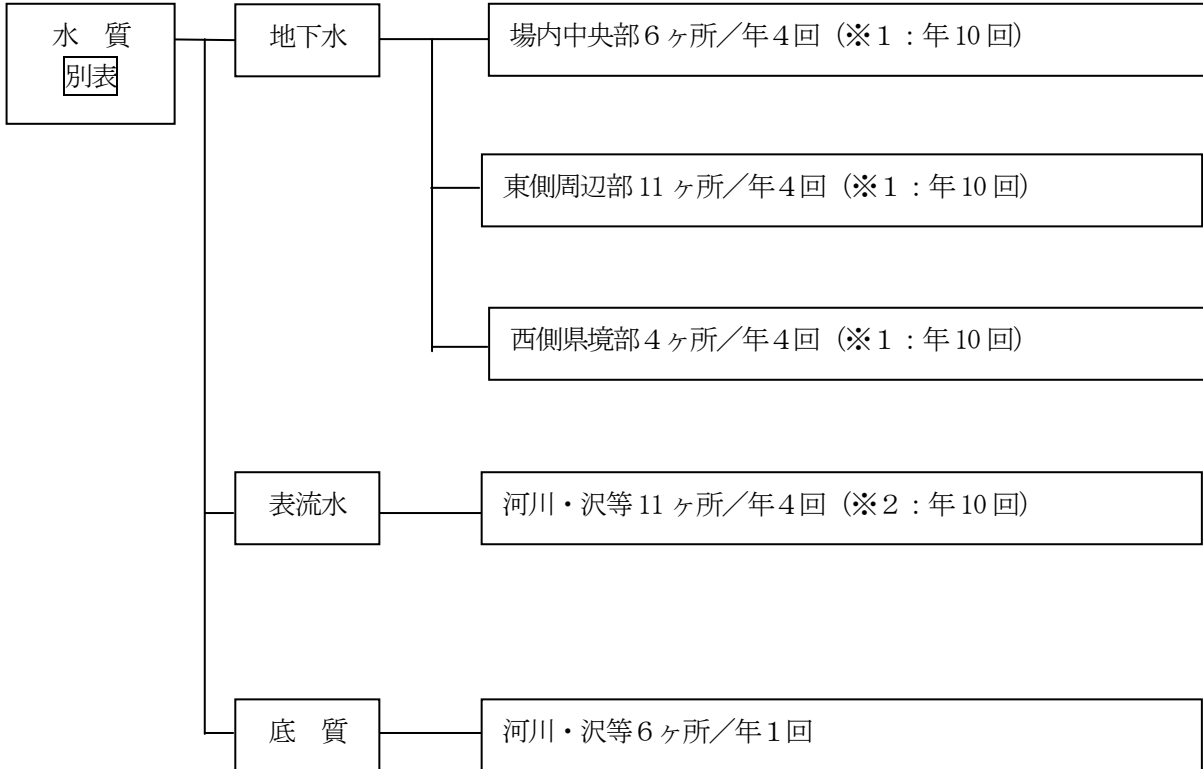
平成26年度環境（定期）モニタリング計画（案）

1 目的

不法投棄現場及びその周辺における汚染状況を把握するとともに、不法投棄物撤去処理事業の実施に伴う周辺地域環境への影響等を監視する。

2 モニタリング地点及び回数の概要

〈項目〉



※1) 地下水の一部項目（1,4-ジオキサン、pH、電気伝導度）は、冬期間を除き毎月実施する。

※2) 表流水の一部項目（1,4-ジオキサン、VOC、pH、電気伝導度）は、冬期間を除き毎月実施する。

3 モニタリングの時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水質	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○		

※水質における全項目調査（年4回：◎部分）は、青森県と調整の上実施する。

水質モニタリング計画

項目	調査地点名		調査地点数	調査項目	調査頻度
地下水	場内中央部	イ-1 イ-3～ イ-6、 イ-8	6ヶ所	生活環境項目 1 項目 健康項目 27 項目 要監視項目 2 項目 その他 2 項目 (塩化物イオン、ダイオキシン類) } ①	年 4 回 (5、8、10、12 月)
				生活環境項目 1 項目 (pH) 健康項目 1 項目 (<u>1,4-ジオキサ</u>) その他 1 項目 (電気伝導度) } ②	年 10 回
	東側周辺部	イ-9 ～ イ-19	11ヶ所	① ※イ-10 は硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素のみ	年 4 回 (5、8、10、12 月)
				② ※イ-10 は実施しない。	年 10 回 (冬期を除く毎月)
	西側県境部	イ-20 ～イ- 22、イ- 24	4ヶ所	①	年 4 回 (5、8、10、12 月)
				②	年 10 回 (冬期を除く毎月)
表流水	直近の沢 No. 1 直近の沢 No. 2 小端川上流 小端川下流 境沢上流	河川・沢等 5ヶ所	生活環境項目 5 項目 健康項目 15 項目 要監視項目 2 項目 その他 2 項目 } ③	年 4 回 (5、8、10、12 月)	
			生活環境項目 1 項目 (pH) 健康項目 12 項目 (<u>VOC、1,4-ジオキサン</u>) 要監視項目 2 項目 (<u>トルエン、キシレン</u>) その他 1 項目 } ④	年 10 回 (冬期を除く毎月)	
	ため池 十文字川支流	ため池等 2ヶ所	④	年 10 回 (冬期を除く毎月実施)	
	雨水調整池 (北及び南側)	放流水 2カ所	③	年 4 回 (5、8、10、12 月)	
			④	年 10 回 (冬期を除く毎月)	
	浸出水 放流 1カ所 回収 1カ所	同上	同上		
底質	直近の沢 No. 1 直近の沢 No. 2 小端川上流 境沢上流 雨水調整池 (北及び南側)	河川・沢等 4ヶ所 雨水調整池 2カ所	土壌汚染環境基準項目、 ダイオキシン類 熱灼減量	年 1 回	

※①～④の詳細は次項

検査項目等一覧表

※場内及び敷地境界設置の観測井における地下水位は、揚水井戸を除き全地点調査を実施。

区分	項目	①	②	③	④	底質
生活環境項目	pH		◎		◎	
	BOD			○		
	COD			○		
	SS	○		○		
	全窒素			○		
	全燐			○		
健康項目	カドミウム	○		○		●
	全シアン	○		○		●
	鉛	○		○		●
	六価クロム	○		○		●
	砒素	○		○		●
	総水銀	○		○		●
	アルキル水銀	○		○		●
	PCB	○		○		●
	ジクロロメタン	○			○	●
	四塩化炭素	○			○	●
	1,2-ジクロロエタン	○			○	●
	塩化ビニルモノマー	○				
	1,1-ジクロロエチレン	○			○	●
	1,2-ジクロロエチレン	○				
	シス-1,2-ジクロロエチレン				○	●
	1,1,1-トリクロロエタン	○			○	●
	1,1,2-トリクロロエタン	○			○	●
	トリクロロエチレン	○			○	●
	テトラクロロエチレン	○			○	●
	1,3-ジクロロプロペン	○			○	●
	チウラム	○		○		●
	シマジン	○		○		●
	チオベンカルブ	○		○		●
	ベンゼン	○			○	●
	セレン	○		○		●
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	○		○		
	ふっ素	○		○		●
	ほう素	○		○		●
	1,4-ジオキサン			◎		◎
	要監視項目	トルエン	○			○
キシレン		○			○	
その他の項目	ダイキソソ類 (Co-PCBsを含む)	○		○		○
	電気伝導度		◎		◎	
	塩化物イオン	○		○		
	熱灼減量					○
	有機リン					●

・底質の●印は、土壌汚染に係る環境基準が設定されている。

①-6: 周辺表流水(平成25年11月)												
	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	
採取日	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	
採取時間	9:15	8:45	8:05	7:35	9:03	10:03	7:53	11:40	9:35	11:50	9:45	
前日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
当日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
気温(°C)	10.8	9.5	6.7	3.9	10.5	11.2	6.6	12.2	10.2	12.2	10.9	
採水地点の周辺状況	山林	山林	山林	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	山林	平原及び山地	山林	平原及び山地	
採水方法	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	直接	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	SUS/バケツ	
採取量(l)	0.7	22.6	0.7	0.7	22.6	0.7	0.7	22.6	22.6	0.8	0.8	
水位(m)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水温(°C)	9.3	8.1	7.8	7.0	8.4	10.0	7.5	8.8	8.7	11.2	11.2	
pH	7.0	7.1	7.1	7.2	6.9	6.2	7.5	7.2	6.6	6.3	5.9	
電気伝導度(mS/m)	32	30	16	8.2	32	19	10	60	130	46	38	
臭気	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
油膜	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
濁り	無	微濁	無	無	無	無	無	微濁	無	無	無	
色	無	白褐色	無	無	無	無	無	淡褐色	無	無	無	
流入	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
特記事項										流量:0.04L/s		
検査項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	環境基準
1 カドミウム												0.003
2 全シアン												検出されないこと
3 鉛又はその化合物												0.01
4 六価クロム												0.05
5 砒素												0.01
6 総水銀											<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀											ND	検出されないこと
8 PCB												検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
11 1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
12 1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
13 シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
14 1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
15 1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
18 1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
19 チウラム												0.006
20 シマジン												0.003
21 チオベンガルブ												0.02
22 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 セレン												0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素												10
25 ふっ素												0.8
26 ほう素												1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)												1
28 pH(単位なし)	7.0	7.1	7.1	7.2	6.9	6.2	7.5	7.2	6.6	6.3	5.9	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD												(河川A類型 2)
30 COD												(湖沼A類型 3)
31 SS		3			<1			2	4			(河川A類型 25)
32 全窒素												(湖沼II類型 0.2)
33 全燐												(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	32	30	16	8.2	32	19	10	60	130	46	38	通常河川 10程度
35 塩素イオン												飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
39 1,4-ジオキサン	0.015	0.017	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.062	0.009	0.036	0.011	0.05
40 塩化ビニルモノマー												0.002
その後値:砒素												

環境基準を超過した観測値
指針値を超過した観測値
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値
単位は特に記載がない限り、mg/ℓ

②-6:場内地下水(平成25年11月)									
	イ-1(6-②-カ) (No.1)	イ-2 (No.2)	イ-3 (No.3)	イ-4 (No.4)	イ-5 (No.5)	イ-6(イ-6-1) (No.6)	イ-7 (No.7)	イ-8 (No.8)	
採取日	11/6		11/6	11/6	11/6	11/6		11/6	
採取時間	14:10		13:55	13:45	14:22	12:58		11:17	
前日天候	晴		晴	晴	晴	晴		晴	
当日天候	晴		晴	晴	晴	晴		晴	
気温(°C)	12.5		13.5	13.3	11.5	13.3		11.8	
採水地点の周辺状況	平原及び山地		平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地		平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー		SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー		SUSペーラー	
採取量(l)	0.6		0.6	0.6	0.6	0.6		0.6	
水位(m)	7.7		2.0	6.4	8.2	13.3		7.8	
水温(°C)	13.0		17.0	16.0	10.3	12.6		11.1	
pH	6.9		6.4	8.0	6.6	7.4		6.5	
電気伝導度(mS/m)	190		170	85	150	120		82	
臭気	無		無	強	無	強		無	
油膜	無		無	無	無	無		無	
濁り	微濁		微濁	微濁	微濁	微濁		微濁	
色	淡褐色		淡褐色	淡灰色	淡褐色	淡灰色		薄茶色	
特記事項		廃	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	溶剤臭		溶剤臭	廃		
検査項目	イ-1(6-②-カ) (No.1)	イ-2 (No.2)	イ-3 (No.3)	イ-4 (No.4)	イ-5 (No.5)	イ-6(イ-6-1) (No.6)	イ-7 (No.7)	イ-8 (No.8)	環境基準
1 カドミウム									0.003
2 全シアン									検出されないこと
3 鉛又はその化合物									0.01
4 六価クロム		止					止		0.05
5 砒素									0.01
6 総水銀									0.0005
7 アルキル水銀									検出されないこと
8 PCB									検出されないこと
9 ジクロロメタン					<0.002			<0.002	0.02
10 四塩化炭素					<0.0002			<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン					<0.0004			<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン		井			<0.002		井	<0.002	0.02
13 1, 2-ジクロロエチレン					<0.004			<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン					<0.0005			<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン					<0.0006			<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン					<0.002			<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン					<0.0005			<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン					<0.0002			<0.0002	0.002
19 チウラム		戸					戸		0.006
20 シマジン									0.003
21 チオベンガルブ									0.02
22 ベンゼン					<0.001			<0.001	0.01
23 セレン									0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素									10
25 ふっ素									0.8
26 ほう素									1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)									1
28 pH(単位なし)	6.9		6.4	8.0	6.6	7.4		6.5	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD									(河川A類型 2)
30 COD									(湖沼A類型 3)
31 SS									(河川A類型 25)
32 全窒素									(湖沼II類型 0.2)
33 全燐									(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	190		170	85	150	120		82	通常河川 10程度
35 塩素イオン									飲料水水質基準200
36 トルエン									(指針値)0.6
37 キシレン									(指針値)0.4
38 エチルベンゼン									-
39 1, 4-ジオキサン	0.64		0.074	0.065	0.014	0.67		0.022	0.05
40 塩化ビニルモノマー									0.002
ろ過後の値:砒素									
ろ過後の値:鉛									
ろ過後の値:カドミウム									
ろ過後の値:総水銀									

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測 単位は特に記載がない限り、mg/ℓ
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

	③-6:周辺地下水(平成25年11月)											環境基準
	イ-9 (W-1)	イ-10 (W-2)	イ-11 (W-3)	イ-12 (W-4)	イ-13 (W-5)	イ-14 (W-6)	イ-15 (W-7)	イ-16 (W-8)	イ-17 (W-9)	イ-18 (W-10)	イ-19 (W-11)	
採取日	11/6	—	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6
採取時間	12:05	—	9:50	13:27	10:33	8:23	13:08	10:22	10:52	10:41	11:07	
前日天候	晴	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
当日天候	晴	—	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
気温(°C)	12.2	—	9.4	12.5	12.0	7.5	11.8	11.5	12.9	12.3	12.4	
採水地点の周辺状況	山林	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び牧草地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー	—	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	
採取量(l)	0.6	—	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
水位(m)	0.6	—	1.3	10.2	4.4	3.9	9.6	3.6	7.5	2.3	7.7	
水温(°C)	11.0	—	13.5	13.5	13.0	9.8	11.9	11.2	11.9	13.3	9.6	
pH	6.3	—	6.9	7.6	6.6	6.1	6.1	6.6	5.8	6.7	5.7	
電気伝導度(mS/m)	22	—	5.0	86	100	22	99	6.0	62	25	55	
臭気	無	—	無	無	弱	無	無	無	無	無	無	
油膜	無	—	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
濁り	微濁	—	無	微濁	微濁	無	濁	無	無	微濁	無	
色	薄茶色	—	無	薄茶色	薄茶色	無	赤茶色	無	無	薄褐色	無	
特記事項	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	当月採水無し		既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	溶剤臭		既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水		
検査項目	イ-9 (W-1)	イ-10 (W-2)	イ-11 (W-3)	イ-12 (W-4)	イ-13 (W-5)	イ-14 (W-6)	イ-15 (W-7)	イ-16 (W-8)	イ-17 (W-9)	イ-18 (W-10)	イ-19 (W-11)	環境基準
1 ガドミウム												0.003
2 全シアン												検出されないこと
3 鉛又はその化合物												0.01
4 六価クロム												0.05
5 砒素												0.01
6 総水銀												0.0005
7 アルキル水銀												検出されないこと
8 PCB												検出されないこと
9 ジクロロメタン						<0.002					<0.002	0.02
10 四塩化炭素						<0.0002					<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン						<0.0004					<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン						<0.002					<0.002	0.02
13 1, 2-ジクロロエチレン						0.010					<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン						0.0015					<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン						<0.0006					<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン						0.010					<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン						0.0049					0.0015	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン						<0.0002					<0.0002	0.002
19 チウラム												0.006
20 シマジン												0.003
21 チオベンガルブ												0.02
22 ベンゼン						<0.001					<0.001	0.01
23 セレン												0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素												10
25 ふっ素												0.8
26 ほう素												1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)												1
28 pH(単位なし)	6.3		6.9	7.6	6.6	6.1	6.1	6.6	5.8	6.7	5.7	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD												(河川A類型 2)
30 COD												(湖沼A類型 3)
31 SS												(河川A類型 25)
32 全窒素												(湖沼II類型 0.2)
33 全燐												(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	22		5.0	86	100	22	99	6	62	25	55	通常河川 10程度
35 塩素イオン												飲料水水質基準200
36 トルエン												(指針値)0.6
37 キシレン												(指針値)0.4
38 エチルベンゼン												-
39 1, 4-ジオキサン	0.061		<0.005	0.027	0.032	<0.005	0.48	<0.005	0.040	0.006	0.008	0.05
40 塩化ビニルモノマー												0.002
ろ過後の値:砒素												
ろ過後の値:鉛												
ろ過後の値:ガドミウム												
ろ過後の値:総水銀												

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/l
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

	④-6:西側県境部地下水 (平成25年11月)					環境基準
	イ-20 (H15-3)	イ-21 (SW-1)	イ-22 (SW-2)	イ-23 (NW-1)	イ-24 (NW-2)	
採取日	11/6	11/6	11/6		11/6	
採取時間	15:00	15:25	15:16		14:33	
前日天候	晴	晴	晴		晴	
当日天候	晴	晴	晴		晴	
気温(°C)	12.5	10.8	10.5		12.4	
採水地点の周辺状況	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地		平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー	ホース吐出口より直接	SUSペーラー		既設ポンプより直接	
採取量(l)	0.6	0.6	0.6		0.6	
水位(m)	8.1	—	8.2		—	
水温(°C)	12.5	14.8	11.8		14.7	
pH	6.6	6.5	7.0		6.4	
電気伝導度(mS/m)	100	110	49		110	
臭気	弱	弱	弱		弱	
油膜	無	無	無		無	
濁り	微濁	微濁	微濁		微濁	
色	淡褐色	淡褐色	薄茶色		淡褐色	
特記事項	溶剤臭	ホース設置あり、吐出口より採水 薬剤臭	溶剤臭		溶剤臭	
検査項目	イ-20 (H15-3)	イ-21 (SW-1)	イ-22 (SW-2)	イ-23 (NW-1)	イ-24 (NW-2)	環境基準
1 カドミウム						0.003
2 全シアン						検出されないこと
3 鉛又はその化合物				廃		0.01
4 六価クロム						0.05
5 砒素						0.01
6 総水銀						0.0005
7 アルキル水銀						検出されないこと
8 PCB						検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002	0.0003	<0.0002		<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン	0.13	0.013	<0.0004	止	<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン	0.007	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
13 1, 2-ジクロロエチレン	0.92	0.071	<0.004		<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン	0.02	0.0056	<0.0005		<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	0.22	0.048	<0.002		<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	0.033	0.034	<0.0005		<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	井	<0.0002	0.002
19 チウラム						0.006
20 シマジン						0.003
21 チオベンガルブ						0.02
22 ベンゼン	1.2	0.070	<0.001		<0.001	0.01
23 セレン						0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素						10
25 ふっ素				戸		0.8
26 ほう素						1
27 ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)						1
28 pH(単位なし)	6.6	6.5	7.0		6.4	(A類型 6.5~8.5)
29 BOD						(A類型 2)
30 COD						(A類型 3)
31 SS						(A類型 25)
32 全窒素						(湖沼類型 II 0.2)
33 全磷						
34 電気伝導度 (mS/m)	100	110	49		110	通常河川 10程度
35 塩素イオン						飲料水水質基準200
36 トルエン						(指針値)0.6
37 キシレン						(指針値)0.4
38 エチルベンゼン						—
39 1, 4-ジオキサン	0.068	0.10	0.014		0.22	0.05
40 塩化ビニルモノマー						0.002
ろ過後の値:砒素						
ろ過後の値:鉛						
ろ過後の値:カドミウム						
ろ過後の値:総水銀						

単位は特に記載がない限り、mg/ℓ

環境基準を超過した観測値
指針値を超過した観測値
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

①-6: 周辺表流水(平成25年12月)												
	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	
採取日	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	—	12/4	12/4	12/4	
採取時間	10:25	9:34	8:42	7:40	9:57	13:30	8:20	—	11:20	11:55	11:40	
前日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	—	晴	晴	晴	
当日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	—	晴	晴	晴	
気温(°C)	3.3	2.9	-1.3	-3.6	3.5	7.8	-1.5	—	6.7	4.0	6.9	
採水地点の周辺状況	山林	山林	山林	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	山林	平原及び山地	山林	平原及び山地	
採水方法	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	直接	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	—	SUS柄杓	SUS柄杓	SUS/バケツ	
採取量(l)	29.0	8.7	29.0	49.4	8.7	1.4	1.4	—	29.0	27.0	27.0	
水位(m)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水温(°C)	6.0	4.0	4.2	2.7	4.0	4.8	4.0	—	5.1	6.5	8.3	
pH	7.0	7.0	7.0	7.2	6.9	6.6	7.4	—	6.7	6.3	5.9	
電気伝導度(mS/m)	31	33	16	8.3	39	19	10	—	120	48	37	
臭気	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
油膜	無	無	無	無	無	無	無	—	無	有	無	
濁り	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
色	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
流入	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
特記事項								欠測				
検査項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	環境基準
1 カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003				<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
2 全シアン	ND	ND	ND	ND	ND				ND	ND	ND	検出されないこと
3 鉛又はその化合物	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002				<0.002	<0.002	<0.002	0.01
4 六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02				<0.02	<0.02	<0.02	0.05
5 砒素	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001				<0.001	<0.001	<0.001	0.01
6 総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005				<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND				ND	ND	ND	検出されないこと
8 PCB	ND	ND	ND	ND	ND				ND	ND	ND	検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
11 1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004		<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
12 1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.1
13 シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	0.04
14 1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
15 1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	0.0005	0.01
18 1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
19 チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006				<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
20 シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003				<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
21 チオベンガルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002				<0.002	<0.002	<0.002	0.02
22 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002				<0.002	<0.002	<0.002	0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	11	4	3	<1	3				6	3	18	10
25 ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				<0.1	<0.1	<0.1	0.8
26 ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1				<0.1	<0.1	<0.1	1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	0.053		0.052	0.052					0.062	0.052	0.051	1
28 pH(単位なし)	7.0	7.0	7.0	7.2	6.9	6.6	7.4		6.7	6.3	5.9	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD	<0.5	1.0	0.7	<0.5	0.5				2.4			(河川A類型 2)
30 COD	3.4	3.0	3.0	1.3	2.3				6.5			(湖沼A類型 3)
31 SS	8	3	3	<1	<1				2	1	<1	(河川A類型 25)
32 全窒素	14	7.1	3.6	0.88	6.1				10			(湖沼II類型 0.2)
33 全燐	0.015	0.004	0.036	0.003	0.003				0.014			(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	31	33	16	8.3	39	19	10		120	48	37	通常河川 10程度
35 塩素イオン	41	59	9.1	6.3	64	15	6.6		230	59	38	飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06		<0.06	<0.06	<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001		<0.0001	<0.0001	<0.0001	—
39 1,4-ジオキサン	0.015	0.018	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		0.008	0.030	0.009	0.05
40 塩化ビニルモノマー												0.002
ろ過後の値: 砒素												

環境基準を超過した観測値
指針値を超過した観測値
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値
単位は特に記載がない限り、mg/l

②-6: 場内地下水(平成25年12月)

	イ-1(6-②-カ) (No.1)	イ-2 (No.2)	イ-3 (No.3)	イ-4 (No.4)	イ-5 (No.5)	イ-6(イ-6-1) (No.6)	イ-7 (No.7)	イ-8 (No.8)	
採取日	12/4		12/4	12/4	12/4	12/4		12/4	
採取時間	15:32		11:30	13:14	11:32	14:08		8:20	
前日天候	晴		晴	晴	晴	晴		晴	
当日天候	晴		晴	晴	晴	晴		晴	
気温(°C)	7.0		11.4	8.5	7	9.5		0.5	
採水地点の周辺状況	平原及び山地		平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地		平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー		既設ポンプより直接	水中ポンプ	水中ポンプ	水中ポンプ		水中ポンプ	
採取量(l)	0.5		27.0	27.0	27.0	12.7		27.0	
水位(m)	7.7		-	6.3	8.7	12.7		8.1	
水温(°C)	11.5		13.5	11.0	10.5	11.0		10.5	
pH	7.1		6.4	7.8	6.7	7.4		6.6	
電気伝導度(mS/m)	210		170	100	140	190		96	
臭気	弱		無	強	強	強		無	
油膜	無		無	無	無	無		無	
濁り	微濁		無	微濁	濁	濁		無	
色	無		無	無	茶褐色	灰色		無	
特記事項	溶剤臭 一部項目欠測	廃		溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭・腐敗臭	廃		
検査項目	イ-1(6-②-カ) (No.1)	イ-2 (No.2)	イ-3 (No.3)	イ-4 (No.4)	イ-5 (No.5)	イ-6(イ-6-1) (No.6)	イ-7 (No.7)	イ-8 (No.8)	環境基準
1 カドミウム	0.0028		<0.0003	<0.0003	0.0004	0.0014		<0.0003	0.003
2 全シアン			ND	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
3 鉛又はその化合物	0.32	止	<0.002	<0.002	0.031	0.25	止	<0.002	0.01
4 六価クロム	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	0.05
5 砒素	0.012		<0.001	0.001	0.009	0.074		<0.001	0.01
6 総水銀			<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀			ND	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
8 PCB			ND	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.010		<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	井	0.0005	<0.0004	<0.0004	<0.0004	井	<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	0.005		<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.005		<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	0.0011	<0.0005	0.0029		<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
19 チウラム		戸	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	戸	<0.0006	0.006
20 シマジン			<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003	0.003
21 チオベンガルブ			<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
22 ベンゼン	<0.001		<0.001	<0.001	0.002	0.002		<0.001	0.01
23 セレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			<1	<1	<1	<1		<1	10
25 ふっ素			<0.1	0.2	0.1	0.4		<0.1	0.8
26 ほう素			<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	1
27 ダイオキシソ類(pg-TEQ/L)			0.053	0.040	1.0	0.083		0.052	1
28 pH(単位なし)	7.1		6.4	7.8	6.7	7.4		6.6	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD									(河川A類型 2)
30 COD									(湖沼A類型 3)
31 SS	1300		5	4	390	5400		1	(河川A類型 25)
32 全窒素									(湖沼II類型 0.2)
33 全燐									(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	210		170	100	140	190		96	通常河川 10程度
35 塩素イオン	420		370	166	290	390		110	飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06		<0.06	<0.06	<0.06	<0.06		<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04		<0.04	0.12	<0.04	<0.04		<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	0.0028		0.0004	0.12	0.0004	0.043		<0.0001	-
39 1, 4-ジオキサン	0.44		0.32	0.080	0.010	0.80		0.026	0.05
40 塩化ビニルモノマー	<0.0002		0.0002	0.0045	<0.0002	0.0030		0.0010	0.002
ろ過後の値:砒素	<0.001			<0.001	<0.001	0.002			
ろ過後の値:鉛	<0.002				<0.002	0.005			
ろ過後の値:カドミウム	0.0004				<0.0003	<0.0003			
ろ過後の値:総水銀									

環境基準を超過した観測値

指針値を超過した観測 単位は特に記載がない限り、mg/l

環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

③-6:周辺地下水(平成25年12月)

	イ-9 (W-1)	イ-10 (W-2)	イ-11 (W-3)	イ-12 (W-4)	イ-13 (W-5)	イ-14 (W-6)	イ-15 (W-7)	イ-16 (W-8)	イ-17 (W-9)	イ-18 (W-10)	イ-19 (W-11)	
採取日	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	12/4	
採取時間	11:30	10:00	13:10	11:55	9:00	7:50	13:10	8:45	10:16	9:35	9:40	
前日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
当日天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
気温(°C)	4.0	4.5	7.5	11.5	2.5	0.0	10.9	3.4	11.5	7.5	4.5	
採水地点の周辺状況	山林	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び牧草地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	
採水方法	水中ポンプ	SUSペーラー	水中ポンプ	既設ポンプより直接	水中ポンプ	水中ポンプ	既設ポンプより直接	水中ポンプ	水中ポンプ	水中ポンプ	水中ポンプ	
採取量(l)	27.0	1.2	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	
水位(m)	0.3	9.0	1.7	-	4.4	4.2	-	3.7	8.3	2.5	8.0	
水温(°C)	8.5	10.0	10.1	11.0	10.5	10.2	11.7	9.0	10.7	10.6	9.0	
pH	6.2	-	6.5	6.5	6.6	6.2	6.4	6.6	5.7	6.1	5.7	
電気伝導度(mS/m)	22	46	5.3	82	100	22	83	5.7	63	75	55	
臭気	無	無	無	無	弱	無	無	無	無	無	無	
油膜	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
濁り	無	濁	微濁	無	微濁	無	無	無	微濁	濁	無	
色	無	茶色	白褐色	無	茶色	無	無	無	淡褐色	褐色	無	
特記事項					溶剤臭							
検査項目	イ-9 (W-1)	イ-10 (W-2)	イ-11 (W-3)	イ-12 (W-4)	イ-13 (W-5)	イ-14 (W-6)	イ-15 (W-7)	イ-16 (W-8)	イ-17 (W-9)	イ-18 (W-10)	イ-19 (W-11)	環境基準
1 カドミウム	<0.0003		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.0003	<0.0003	<0.0003	0.010	<0.0003	0.003
2 全シアン	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
3 鉛又はその化合物	<0.002		0.006	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.010	0.081	<0.002	0.01
4 六価クロム	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05
5 砒素	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	0.01
6 総水銀	0.0007		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0046	<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
8 PCB	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン	<0.0004		<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	0.007	<0.004	<0.004	0.014	<0.004	<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005		<0.0005	0.0012	<0.0005	0.0015	<0.0005	<0.0005	0.0010	<0.0005	<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.007	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005		<0.0005	0.0008	<0.0005	0.0038	<0.0005	0.0005	0.0051	<0.0005	0.0015	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
19 チウラム	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
20 シマジン	<0.0003		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
21 チオベンガルブ	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
22 ベンゼン	<0.001		<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 セレン	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1	29	<1	6	<1	2	<1	<1	47	<1	37	10
25 ふっ素	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.8
26 ほう素	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	0.054		0.056	0.050	0.058	0.052	0.050	0.051	0.065	1.3	0.052	1
28 pH(単位なし)	6.2		6.5	6.5	6.6	6.2	6.4	6.6	5.7	6.1	5.7	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD												(河川A類型 2)
30 COD												(湖沼A類型 3)
31 SS	8		30	<1	13	3	2	3	330	1100	<1	(河川A類型 25)
32 全窒素												(湖沼II類型 0.2)
33 全燐												(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	22	46	5.3	82	100	22	83	5.7	63	75	55	通常河川 10程度
35 塩素イオン	55		3.3	150	140	38	170	3.5	79	99	41	飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06		<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04		<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	<0.0001		<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0003	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
39 1, 4-ジオキサン	0.051		<0.005	0.037	0.028	<0.005	0.45	<0.005	0.038	0.025	0.006	0.05
40 塩化ビニルモノマー	<0.0002		<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	0.0003	<0.0002	<0.0002	0.0003	<0.0002	0.002
ろ過後の値:砒素									<0.001			
ろ過後の値:鉛			<0.002						<0.002	0.003		
ろ過後の値:カドミウム							<0.0003			0.0034		
ろ過後の値:総水銀	<0.0005									<0.0005		

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/l
 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

	④-6:西側県境部地下水 (平成25年12月)					環境基準
	イ-20 (H15-3)	イ-21 (SW-1)	イ-22 (SW-2)	イ-23 (NW-1)	イ-24 (NW-2)	
採取日	12/4	12/4	12/4		12/4	
採取時間	10:37	14:52	13:40		14:15	
前日天候	晴	晴	晴		晴	
当日天候	晴	晴	晴		晴	
気温(°C)	4.5	8.0	4.5		4.5	
採水地点の周辺状況	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地		平原及び山地	
採水方法	水中ポンプ	SUSバケツ	水中ポンプ		既設ポンプより直接	
採取量(l)	27.0	27.0	27.0		27.0	
水位(m)	8.6	-	7.9		-	
水温(°C)	12.8	9.0	12.3		12.0	
pH	6.7	6.6	7.0		6.4	
電気伝導度(mS/m)	100	100	51		110	
臭気	弱	弱	弱		無	
油膜	無	無	無		無	
濁り	濁	微濁	微濁		無	
色	茶色	赤褐色	茶褐色		無	
特記事項	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭	廃		
検査項目	イ-20 (H15-3)	イ-21 (SW-1)	イ-22 (SW-2)	イ-23 (NW-1)	イ-24 (NW-2)	環境基準
1 カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003	0.003
2 全シアン	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
3 鉛又はその化合物	<0.002	<0.002	<0.002	止	<0.002	0.01
4 六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02		<0.02	0.05
5 砒素	0.001	<0.001	<0.001		<0.001	0.01
6 総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	0.0005
7 アルキル水銀	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
8 PCB	ND	ND	ND		ND	検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
11 1,2-ジクロロエタン	0.11	0.0056	<0.0004	井	<0.0004	0.004
12 1,1-ジクロロエチレン	0.005	<0.002	<0.002		<0.002	0.1
13 1,2-ジクロロエチレン	0.65	0.029	<0.004		<0.004	0.04
14 1,1,1-トリクロロエタン	0.0098	0.0022	<0.0005		<0.0005	1
15 1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	0.10	0.16	<0.002		<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	0.013	0.0082	<0.0005		<0.0005	0.01
18 1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	戸	<0.0002	0.002
19 チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
20 シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003		<0.0003	0.003
21 チオベンガルブ	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.02
22 ベンゼン	0.97	0.027	<0.001		<0.001	0.01
23 セレン	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<1	<1	<1		7	10
25 ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	0.8
26 ほう素	<0.1	<0.1	<0.1		<0.1	1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)	0.095	0.051	0.052		0.051	1
28 pH(単位なし)	6.7	6.6	7.0		6.4	(A類型 6.5~8.5)
29 BOD						(A類型 2)
30 COD						(A類型 3)
31 SS	50	2	31		1	(A類型 25)
32 全窒素						(湖沼類型 II 0.2)
33 全磷						
34 電気伝導度(mS/m)	100	100	51		110	通常河川 10程度
35 塩素イオン	150	130	42		160	飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06	<0.06	<0.06		<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	0.0005	0.0017	<0.0001		0.0004	-
39 1,4-ジオキサン	0.068	0.060	0.011		0.21	0.05
40 塩化ビニルモノマー	0.18	0.0081	<0.0002		0.0002	0.002
ろ過後の値:砒素	<0.001					
ろ過後の値:鉛						
ろ過後の値:カドミウム						
ろ過後の値:総水銀						

単位は特に記載がない限り、mg/l

環境基準を超過した観測値
指針値を超過した観測値
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

①-6: 周辺表流水(平成26年1月)												
	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	
採取日	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	—	1/8	1/8	1/8	
採取時間	10:55	10:25	13:02	8:31	10:40	11:45	7:45	—	11:20	10:40	11:30	
前日天候	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	—	曇	曇	曇	
当日天候	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	—	曇	曇	曇	
気温(°C)	1.5	1.4	2.1	1.8	1.8	1.4	0.0	—	1.5	-2.0	1.6	
採水地点の周辺状況	山林	山林	山林	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	山林	平原及び山地	山林	平原及び山地	
採水方法	SUS柄杓	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	SUS柄杓	SUS柄杓	直接	—	SUS柄杓	直接	SUSペーラー	
採取量(l)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	—	0.8	0.8	0.8	
水位(m)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水温(°C)	4.0	2.2	3.8	2.6	2.2	0.3	1.3	—	0.7	8.0	6.8	
pH	7.2	7.0	7.1	7.2	7.1	6.7	7.3	—	7.1	6.3	6.0	
電気伝導度(mS/m)	41	28	15	7.9	16	26	10	—	97	52	60	
臭気	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
油膜	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
濁り	薄こげ茶色	薄茶色	薄こげ茶色	無	無	無	無	—	無	無	無	
色	微濁	微濁	微濁	無	無	無	無	—	無	無	無	
流入	無	無	無	無	無	無	無	—	無	無	無	
特記事項												
検査項目	直近の沢 No.1	直近の沢 No.2	小端川上 流	小端川下 流	境沢上流	溜池	十文字川 支流	北調整池	南調整池	北調整池 浸出水	南調整池 浸出水	環境基準
1 カドミウム												0.003
2 全シアン												検出されないこと
3 鉛又はその化合物												0.01
4 六価クロム												0.05
5 砒素												0.01
6 総水銀											0.0017	0.0005
7 アルキル水銀											ND	検出されないこと
8 PCB												検出されないこと
9 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.02
10 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
11 1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004		<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
12 1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.1
13 シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004		<0.004	<0.004	<0.004	0.04
14 1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	1
15 1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006		<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01
18 1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
19 チウラム												0.006
20 シマジン												0.003
21 チオベンガルブ												0.02
22 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		<0.001	<0.001	<0.001	0.01
23 セレン												0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素												10
25 ふっ素												0.8
26 ほう素												1
27 ダイオキシン類(pg-TEQ/L)												1
28 pH(単位なし)	7.2	7.0	7.1	7.2	7.1	6.7	7.3		7.1	6.3	6.0	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD												(河川A類型 2)
30 COD												(湖沼A類型 3)
31 SS												(河川A類型 25)
32 全窒素												(湖沼II類型 0.2)
33 全燐												(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	41	28	15	7.9	16	26	10		97	52	60	通常河川 10程度
35 塩素イオン												飲料水水質基準200
36 トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06		<0.06	<0.06	<0.06	(指針値)0.6
37 キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04		<0.04	<0.04	<0.04	(指針値)0.4
38 エチルベンゼン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001		<0.0001	<0.0001	<0.0001	—
39 1,4-ジオキサン	0.017	0.015	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		0.021	0.047	0.026	0.05
40 塩化ビニルモノマー												0.002
ろ過後の値:砒素												
ろ過後の値:総水銀											0.0016	

環境基準を超過した観測値
指針値を超過した観測値
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値
単位は特に記載がない限り、mg/ℓ

②-6:場内地下水(平成26年1月)

	イ-1(6-②-カ) (No.1)	イ-2 (No.2)	イ-3 (No.3)	イ-4 (No.4)	イ-5 (No.5)	イ-6(イ-6-1) (No.6)	イ-7 (No.7)	イ-8 (No.8)	
採取日	1/8	—	1/8	1/8	1/8	1/8	—	1/8	
採取時間	14:37	—	14:21	11:36	9:48	11:52	—	15:09	
前日天候	曇	—	曇	曇	曇	曇	—	曇	
当日天候	曇	—	曇	曇	曇	曇	—	曇	
気温(°C)	-1.0	—	-1	-2.0	-2	-2.0	—	-1.0	
採水地点の周辺状況	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー	—	既設ポンプより直接	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	—	SUSペーラー	
採取量(l)	0.6	—	0.6	0.6	0.8	0.6	—	0.8	
水位(m)	7.0	—	—	7.5	9.5	14.0	—	8.0	
水温(°C)	12.0	—	7.0	11.0	8.0	11.0	—	13.0	
pH	7.0	—	6.5	7.6	6.7	7.4	—	6.9	
電気伝導度(mS/m)	290	—	180	96	150	180	—	91	
臭気	弱	—	弱	強	弱	強	—	弱	
油膜	無	—	無	無	無	無	—	無	
濁り	微濁	—	無	微濁	濁	微濁	—	無	
色	黄褐色	—	無	黄褐色	黒色	黒色	—	無	
特記事項	溶剤臭	廃	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭	糞便・溶剤臭	廃	溶剤臭	
検査項目	イ-1(6-②-カ) (No.1)	イ-2 (No.2)	イ-3 (No.3)	イ-4 (No.4)	イ-5 (No.5)	イ-6(イ-6-1) (No.6)	イ-7 (No.7)	イ-8 (No.8)	環境基準
1 カドミウム									0.003
2 全シアン									検出されないこと
3 鉛又はその化合物									0.01
4 六価クロム		止					止		0.05
5 砒素									0.01
6 総水銀									0.0005
7 アルキル水銀									検出されないこと
8 PCB									検出されないこと
9 ジクロロメタン					<0.002			<0.002	0.02
10 四塩化炭素					<0.0002			<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン					<0.0004			<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン		井			<0.002		井	<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン					<0.004			<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン					<0.0005			<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン					<0.0006			<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン					<0.002			<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン					<0.0005			<0.0005	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン					<0.0002			<0.0002	0.002
19 チウラム		戸					戸		0.006
20 シマジン									0.003
21 チオベンガルブ									0.02
22 ベンゼン					0.001			<0.001	0.01
23 セレン									0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素									10
25 ふっ素									0.8
26 ほう素									1
27 ダイオキシソ類(pg-TEQ/L)									1
28 pH(単位なし)	7.0		6.5	7.6	6.7	7.4		6.9	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD									(河川A類型 2)
30 COD									(湖沼A類型 3)
31 SS									(河川A類型 25)
32 全窒素									(湖沼II類型 0.2)
33 全燐									(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	290		180	96	150	180		91	通常河川 10程度
35 塩素イオン									飲料水水質基準200
36 トルエン									(指針値)0.6
37 キシレン									(指針値)0.4
38 エチルベンゼン									—
39 1, 4-ジオキサン	0.61		0.28	0.092	0.006	0.48		0.021	0.05
40 塩化ビニルモノマー									0.002
ろ過後の値:砒素									
ろ過後の値:鉛									
ろ過後の値:カドミウム									
ろ過後の値:総水銀									

環境基準を超過した観測値 指針値を超過した観測 単位は特に記載がない限り、mg/l
 環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

③-6:周辺地下水(平成26年1月)												
	イ-9 (W-1)	イ-10 (W-2)	イ-11 (W-3)	イ-12 (W-4)	イ-13 (W-5)	イ-14 (W-6)	イ-15 (W-7)	イ-16 (W-8)	イ-17 (W-9)	イ-18 (W-10)	イ-19 (W-11)	
採取日	1/8	—	1/8	1/14	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	1/8	
採取時間	10:48	—	15:10	11:30	14:15	15:27	13:44	15:15	14:35	14:57	15:40	
前日天候	曇	—	曇	—	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	
当日天候	曇	—	曇	—	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	
気温(°C)	-2.0	—	0.2	—	0.0	-1.0	-1.0	0.3	0.0	0.1	0.5	
採水地点の周辺状況	山林	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び牧草地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	—	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	SUSペーラー	
採取量(l)	0.6	—	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	
水位(m)	0.3	—	1.7	—	4.8	4.4	12.8	3.9	10.0	3.9	8.2	
水温(°C)	6.0	—	6.0	—	10.7	11.0	11.0	5.7	9.3	9.2	8.0	
pH	6.7	—	7.1	7.2	6.5	6.2	6.3	7.0	5.8	6.7	5.8	
電気伝導度(mS/m)	22	—	5.3	140	100	23	98	11.0	65	89	58	
臭気	弱	—	無	—	強	弱	弱	無	無	強	無	
油膜	無	—	無	—	無	無	無	無	無	無	無	
濁り	無	—	無	—	微濁	無	微濁	無	無	濁	無	
色	無	—	無	—	薄茶色	無	赤褐色	無	無	こげ茶色	無	
特記事項	溶剤臭			ヨ-16で採水	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭 既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	既設ポンプ停止のためペーラーにて採水	溶剤臭 既設ポンプ停止のためペーラーにて採水		
検査項目	イ-9 (W-1)	イ-10 (W-2)	イ-11 (W-3)	イ-12 (W-4)	イ-13 (W-5)	イ-14 (W-6)	イ-15 (W-7)	イ-16 (W-8)	イ-17 (W-9)	イ-18 (W-10)	イ-19 (W-11)	環境基準
1 カドミウム												0.003
2 全シアン												検出されないこと
3 鉛又はその化合物												0.01
4 六価クロム												0.05
5 砒素												0.01
6 総水銀												0.0005
7 アルキル水銀												検出されないこと
8 PCB												検出されないこと
9 ジクロロメタン						<0.002					<0.002	0.02
10 四塩化炭素						<0.0002					<0.0002	0.002
11 1, 2-ジクロロエタン						<0.0004					<0.0004	0.004
12 1, 1-ジクロロエチレン						<0.002					<0.002	0.1
13 1, 2-ジクロロエチレン						0.009					<0.004	0.04
14 1, 1, 1-トリクロロエタン						0.0019					<0.0005	1
15 1, 1, 2-トリクロロエタン						<0.0006					<0.0006	0.006
16 トリクロロエチレン						0.009					<0.002	0.03
17 テトラクロロエチレン						0.0049					0.0018	0.01
18 1, 3-ジクロロプロペン						<0.0002					<0.0002	0.002
19 チウラム												0.006
20 シマジン												0.003
21 チオベンガルブ												0.02
22 ベンゼン						<0.001					<0.001	0.01
23 セレン												0.01
24 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素												10
25 ふっ素												0.8
26 ほう素												1
27 ダイオキシン類(og-TEQ/L)												1
28 pH(単位なし)	6.7		7.1	7.2	6.5	6.2	6.3	7.0	5.8	6.7	5.8	(河川A類型 6.5~8.5)
29 BOD												(河川A類型 2)
30 COD												(湖沼A類型 3)
31 SS												(河川A類型 25)
32 全窒素												(湖沼II類型 0.2)
33 全燐												(湖沼II類型 0.01)
34 電気伝導度(mS/m)	22		5.3	140	100	23	98	11	65	89	58	通常河川 10程度
35 塩素イオン												飲料水水質基準200
36 トルエン												(指針値)0.6
37 キシレン												(指針値)0.4
38 エチルベンゼン												—
39 1, 4-ジオキサン	0.051		<0.005	0.019	0.034	<0.005	0.45	<0.005	0.043	0.034	0.007	0.05
40 塩化ビニルモノマー												0.002
ろ過後の値:砒素												
ろ過後の値:鉛												
ろ過後の値:カドミウム												
ろ過後の値:総水銀												

環境基準を超過した観測値

指針値を超過した観測値 単位は特に記載がない限り、mg/l

環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

	④-6:西側県境部地下水 (平成26年1月)					環境基準
	イ-20 (H15-3)	イ-21 (SW-1)	イ-22 (SW-2)	イ-23 (NW-1)	イ-24 (NW-2)	
採取日	1/8	1/8	1/8	—	1/8	
採取時間	8:28	8:46	9:02	—	9:29	
前日天候	曇	曇	曇	—	曇	
当日天候	曇	曇	曇	—	曇	
気温(°C)	-1.0	-1.0	-1.0	—	-1.0	
採水地点の周辺状況	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	平原及び山地	
採水方法	SUSペーラー	ホース吐出口より直接	SUSペーラー	—	既設ポンプより直接	
採取量(l)	0.7	0.7	0.7	—	0.8	
水位(m)	8.6	—	8.2	—	—	
水温(°C)	11.0	14.0	12.0	—	8.0	
pH	6.9	6.7	7.1	—	6.5	
電気伝導度(mS/m)	110	110	51	—	110	
臭気	弱	強	弱	—	弱	
油膜	無	無	無	—	無	
濁り	濁	無	無	—	無	
色	黒色	無	無	—	無	
特記事項	溶剤臭	溶剤臭	溶剤臭	廃	溶剤臭	
検査項目	イ-20 (H15-3)	イ-21 (SW-1)	イ-22 (SW-2)	イ-23 (NW-1)	イ-24 (NW-2)	環境基準
1	カドミウム			止		0.003
2	全シアン					検出されないこと
3	鉛又はその化合物					0.01
4	六価クロム					0.05
5	砒素					0.01
6	総水銀					0.0005
7	アルキル水銀					検出されないこと
8	PCB					検出されないこと
9	ジクロロメタン	<0.002	<0.002	井	<0.002	0.02
10	四塩化炭素	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
11	1, 2-ジクロロエタン	0.18	0.0096		<0.0004	0.004
12	1, 1-ジクロロエチレン	0.007	<0.002		<0.002	0.1
13	1, 2-ジクロロエチレン	1.4	0.059		<0.004	0.04
14	1, 1, 1-トリクロロエタン	0.026	0.0037		<0.0005	1
15	1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006		<0.0006	0.006
16	トリクロロエチレン	0.19	0.035	戸	<0.002	0.03
17	テトラクロロエチレン	0.0074	0.016		<0.0005	0.01
18	1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002		<0.0002	0.002
19	チウラム					0.006
20	シマジン					0.003
21	チオベンガルブ					0.02
22	ベンゼン	1.9	0.061		0.001	0.01
23	セレン					0.01
24	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素					10
25	ふっ素					0.8
26	ほう素					1
27	ダイオキシン類(pg-TEQ/L)					1
28	pH(単位なし)	6.9	6.7	7.1	6.5	(A類型 6.5~8.5)
29	BOD					(A類型 2)
30	COD					(A類型 3)
31	SS					(A類型 25)
32	全窒素					(湖沼類型 II 0.2)
33	全磷					
34	電気伝導度(mS/m)	110	110	51	110	通常河川 10程度
35	塩素イオン					飲料水水質基準200
36	トルエン					(指針値)0.6
37	キシレン					(指針値)0.4
38	エチルベンゼン					—
39	1, 4-ジオキサン	0.078	0.075	0.010	0.19	0.05
40	塩化ビニルモノマー					0.002
	ろ過後の値:砒素					
	ろ過後の値:鉛					
	ろ過後の値:カドミウム					
	ろ過後の値:総水銀					

単位は特に記載がない限り、mg/l

環境基準を超過した観測値
指針値を超過した観測値
環境基準、要監視項目指針値設定項目で、定量下限値を超えて検出された観測値

図 1. 平成25年度水質モニタリング地点(表流水)

